

第6回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会次第

日時 平成31年2月23日（土）13時00分～

場所 高松国際ホテル 2階 瀬戸東の間

I. 開会

II. 審議・報告事項

1. 豊島処分地の地下水浄化対策等の概況（報告）
2. 地下水浄化の状況
 - (1) D測線西側
 - ① D測線西側の地下水質の状況（定期モニタリング）（報告）
 - ② D測線西側の集水井の設置工事（報告）
 - (2) 井戸側の水質の状況（報告）
3. 集水井から湧出する地下水の処理の検討結果（報告）
4. 化学処理による原位置浄化等を実施する区画の事前調査結果（報告）
5. 処分地全体の地下水浄化対策を行う際に必要な調査の実施（審議）

III. その他

1. D測線西側における水質調査結果の解析（中杉座長作成資料）
～豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の完了に向けての今後の対応と課題（豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会永田委員長提案）～

IV. 閉会

豊島処分地の地下水浄化対策等の概況

1. 概要

現在実施している地下水浄化対策の概況を報告する。

2. 地下水浄化対策等の実施状況

(1) A3、B5及びF1

岩盤のクラック部分の地下水汚染が原因と考えられ、A3及びB5については、平成26年4月から揚水対策を実施中であるが、浄化は進んでいない。A3については砒素が、B5及びF1については1,4-ジオキサンが排水基準値を超過しており、他の地点での揚水浄化以外の処理方法の検討に合わせ、この地点においても化学処理による浄化を検討する。

(2) D測線西側

浅い層は平成26年6月から、深い層は平成27年4月から揚水対策を実施中である。浅い層では排水基準値以下となってきたが、深い層では依然として排水基準値を超過しているため、深い層に対する集水井を設置することとし、平成31年1月に設置が完了した。(→資料Ⅱ/2-1-1、Ⅱ/2-1-2)

また、集水井から湧出する地下水を処理するため、既存の排水処理装置を活用した処理の検討を行っている。(→資料Ⅱ/3)

(3) つぼ掘り拡張区画 (FG34 付近及び北海岸付近)

FG34 付近及び北海岸付近では、最初の帯水層を対象とした概況調査やつぼ掘り湧水でベンゼンや1,4-ジオキサンの比較的高い汚染が確認されていることから、つぼ掘りを拡張して地下水の揚水処理を実施することとしている。また、掘削した土壌は積替え施設で保管し、洗浄又は抽出処理を行うこととしている。

現在、積替え施設に保管している廃棄物が順次搬出され、作業スペースが確保できたことから、掘削や積替え施設で保管している土壌の処理を再開することとし、その進捗状況を踏まえながら、化学処理等による地下水浄化対策の実施についても検討していく。

(4) 井戸側を設置した区画

つぼ掘り湧水等で汚染が確認された箇所には井戸側を設置し、揚水処理を実施している。(→資料Ⅱ/2-2)

(5) 深い層

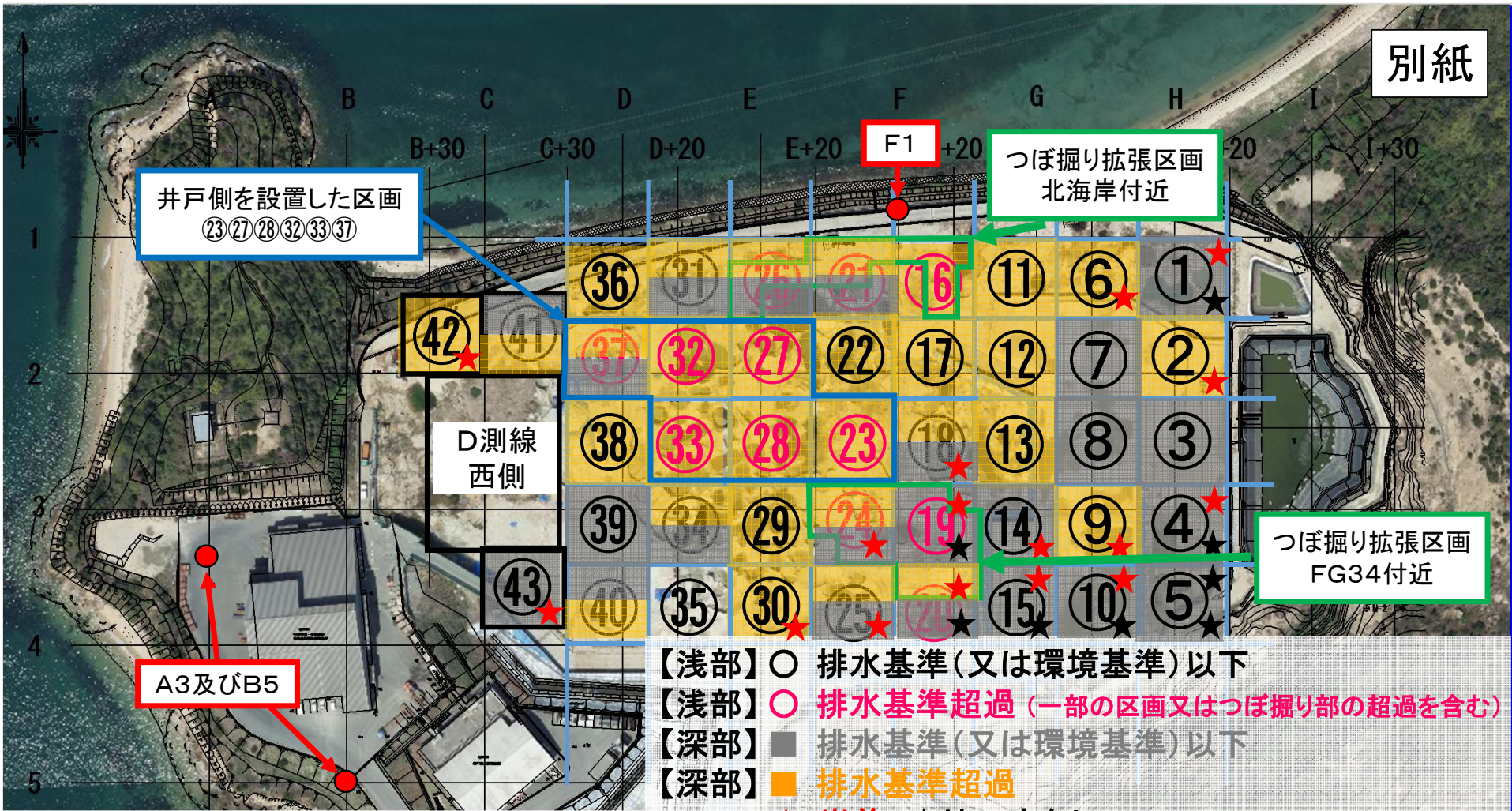
30mメッシュの区画で行った概況調査で排水基準値を下回っていた区画のうち、処分地東側の3区画(⑧、⑫、⑭)で行った深い層の水質調査の結果、⑫の区画で汚染が確認されたことから、全43区画(岩盤部である⑤の区画を除く)において深い層の調査を実施し、30区画で排水基準値を超過していた。これらは、高濃度汚染地点(②、⑨、⑳)の地下水浄化対策から

優先して進めていくこととしており、化学処理による原位置浄化を実施する際に必要な調査を実施中である。(→資料Ⅱ/4)

また、その他の 27 区画の地下水浄化対策を実施するにあたり基礎情報を集めるための調査を検討中である。(→資料Ⅱ/5)

表 1 地下水浄化対策等における進捗状況

項目	地点	平成 30 年度の実施内容	進捗状況	
地下水調査	(1) A3、B5 及び F1	A3・B5・F1	モニタリング	継続中
	(2) D測線西側	(B+40, 2+10)、 (C, 2+40)、(C, 3)、 (C, 3+10)	モニタリング ((C, 3+10) は揚水停止中)	継続中
	(4) 井戸側を設置した区画	概況調査⑳㉑㉒㉓㉔ ㉕㉖の区画、D測線西側	モニタリング	継続中
地下水浄化対策	(1) A3、B5 及び F1	A3・B5	揚水浄化	継続中
		A3・B5・F1	化学処理	検討中
	(2) D測線西側	(B+40, 2+10)、 (C, 2+40)	揚水浄化 ((C, 3+10) は揚水停止中)	継続中
		—	集水井設置工事	実施済
		—	集水井揚水浄化	継続中
	(3) つぼ掘り拡張区画 (FG34 付近及び北海岸付近)	FG34 付近 (概況調査⑲㉑㉒の区画)	つぼ掘り拡張工事	実施中
		北海岸付近 (概況調査⑲㉑㉒の区画)	つぼ掘り拡張工事	実施中
	(4) 井戸側を設置した区画	概況調査⑳㉑㉒㉓㉔ ㉕㉖の区画、D測線西側	揚水浄化	継続中
	(5) 深い層	概況調査⑳㉑㉒の区画	化学処理等	検討中



※区画上下で、上側はT.P.-3m、下側は-8mの結果を示している。

D測線西側の地下水質の状況（定期モニタリング）

1. 概要

D測線西側の地下水を浄化するため、(B+40, 2+10) 地点、(C, 2+40) 地点及び(C, 3+10) 地点に観測井及び揚水井を設置しており、平成26年6月から浅い揚水井で、平成27年4月から深い揚水井で揚水処理を実施している。今回、約2か月毎に実施している定期モニタリング結果について報告する。



図1 調査地点（処分地南西側から）

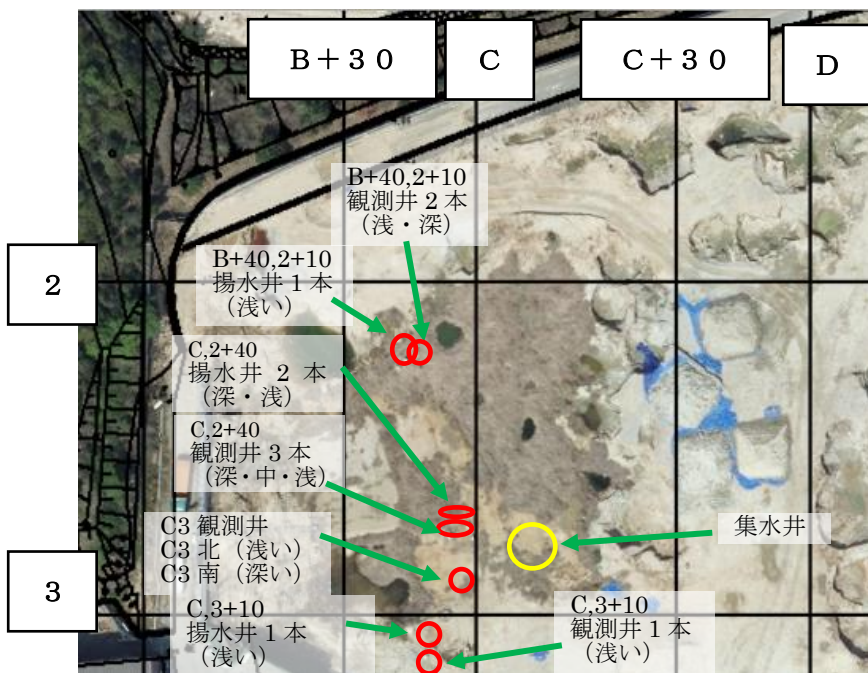


図2 調査地点（平面図）

2. 定期モニタリング結果

(1) 実施日

平成30年11月26～27日及び12月19日

※(C, 2+40)の浅い揚水井については、11月27日の調査時において配管詰りが原因で揚水されていないことを確認したため、配管詰りを復旧した上で、あらためて12月19日に採水を行った。

(2) 調査体制

調査及び分析機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

(3) 調査地点(図1及び図2)

観測井8地点

揚水井4地点

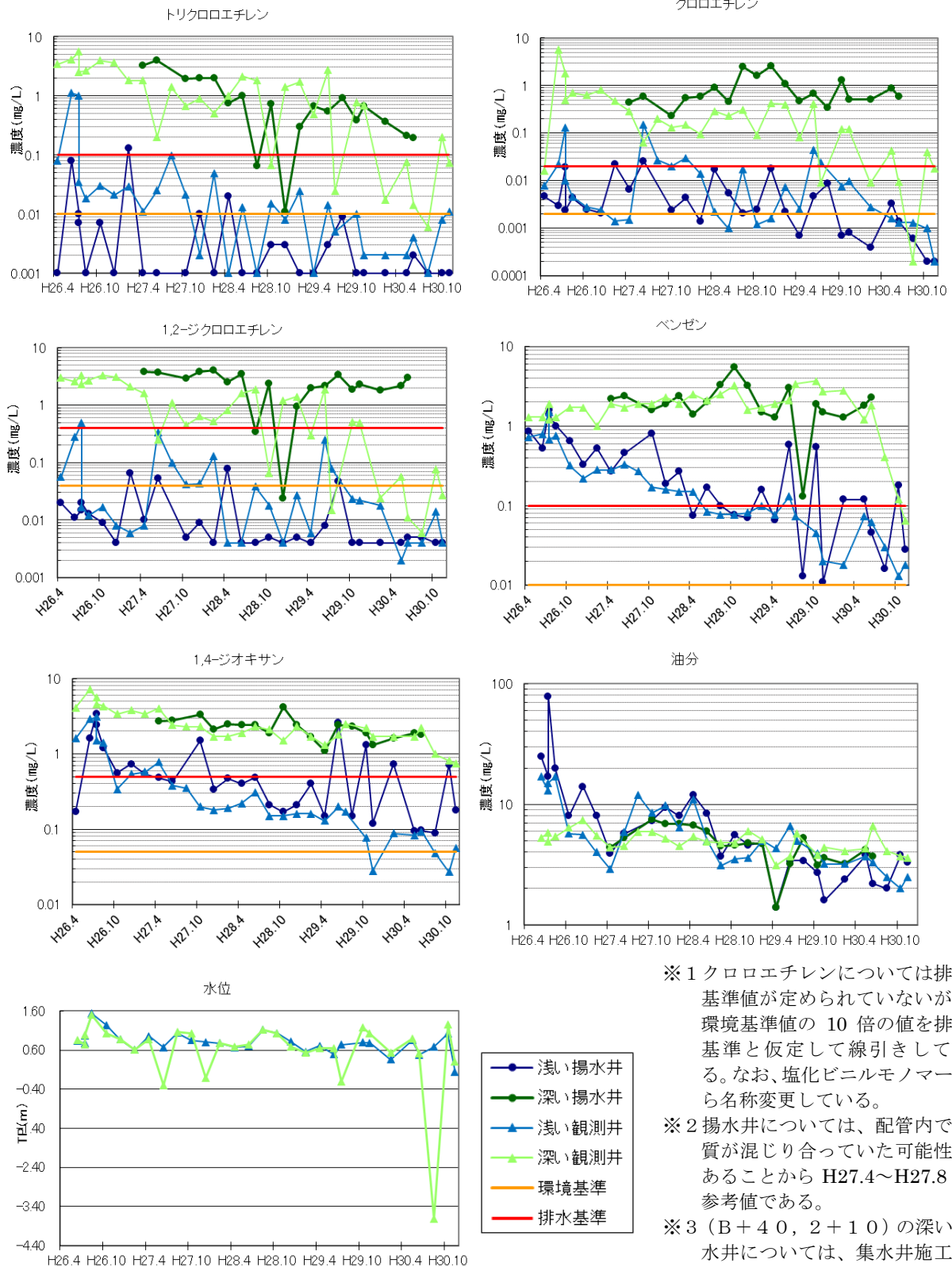
(4) 結果の概要

地下水の概況は図3～6のとおりで、これまでの月間揚水量は表1のとおりである。

浅い揚水井及び観測井については、これまでの定期モニタリング結果と同様の傾向を示しており、概ね排水基準値を満足していた。

また、深い揚水井及び観測井についても、これまでの定期モニタリング結果と同様の傾向を示しており、高い濃度で推移するとともに、全ての地点においていずれかの項目が排水基準値を超過していた。

なお、(C, 3+10)の揚水井については、第21回排水・地下水等対策検討会(H27.12.23開催)において、揚水を止めて経過観察することになったことから、平成27年12月24日から揚水停止中である。



※1 クロロエチレンについては排水基準値が定められていないが、環境基準値の10倍の値を排水基準と仮定して線引きしている。なお、塩化ビニルモノマーから名称変更している。

※2 揚水井については、配管内で水質が混じり合っていた可能性があることから H27.4～H27.8 は参考値である。

※3 (B+40, 2+10)の深い揚水井については、集水井施工により平成30年7月3日に削孔した横ボーリングが、(B+40, 2+10)の深い揚水井を貫通したため、以降の揚水ができず欠測とした。

※深井戸水位の特異な減少は揚水井のポンプの影響である。

図3 (B+40, 2+10)地点の地下水の状況(青系統色:浅井戸、緑系統色:深井戸)

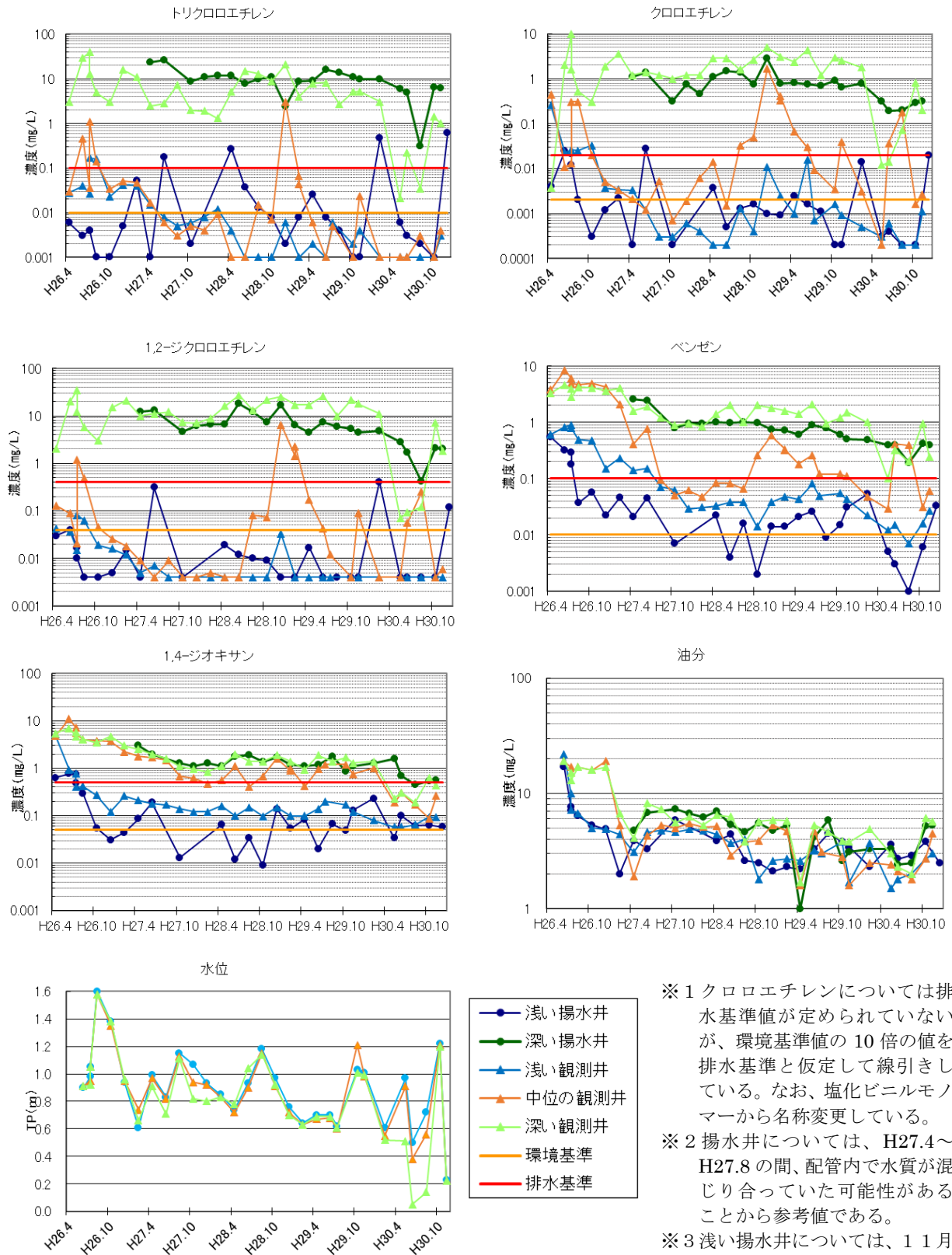


図4 (C, 2+40) 地点の地下水の状況 (青系統色: 浅井戸、緑系統色: 深井戸)

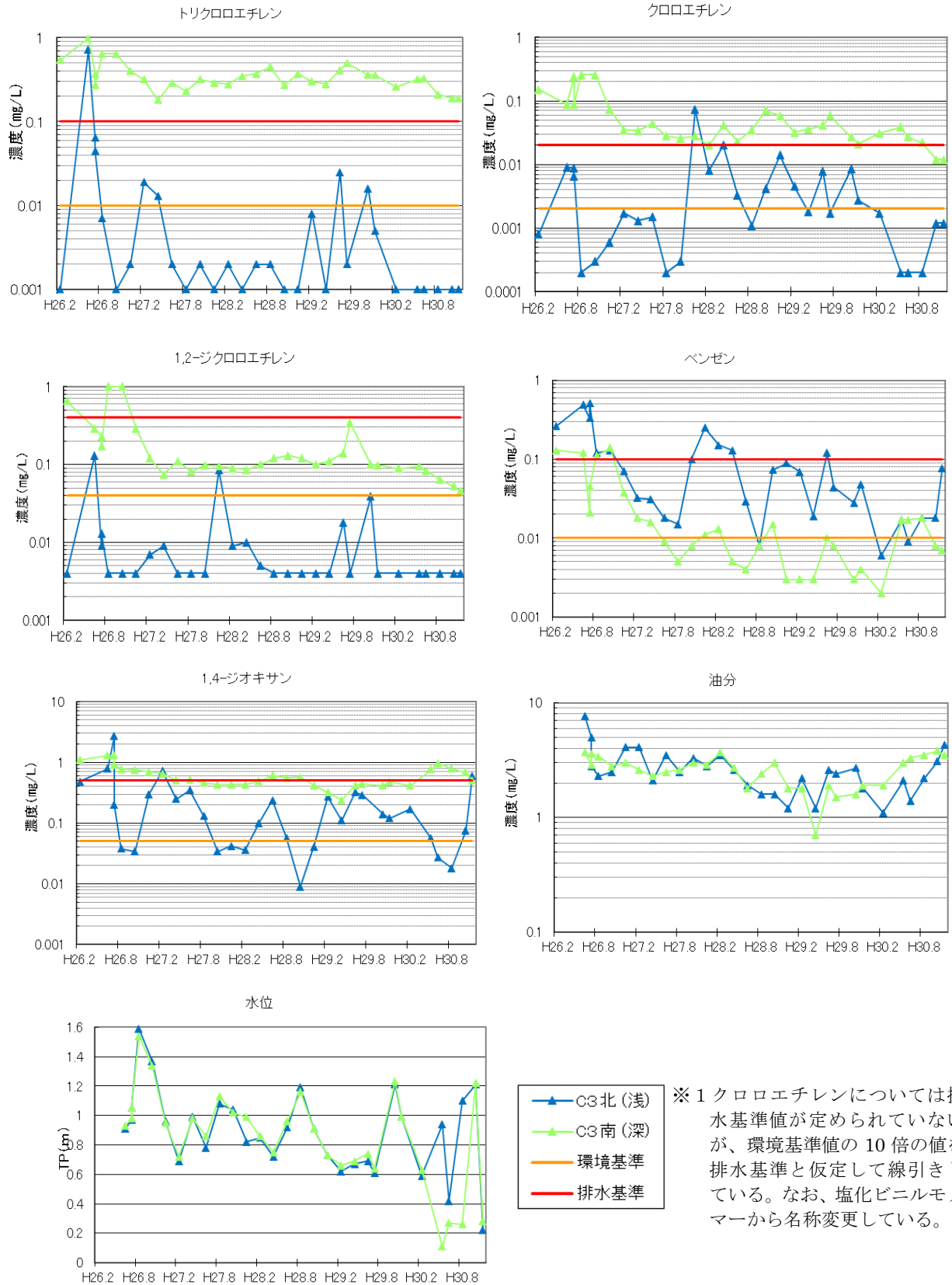


図5 C3の地下水の状況（青系統色：浅井戸、緑系統色：深井戸）

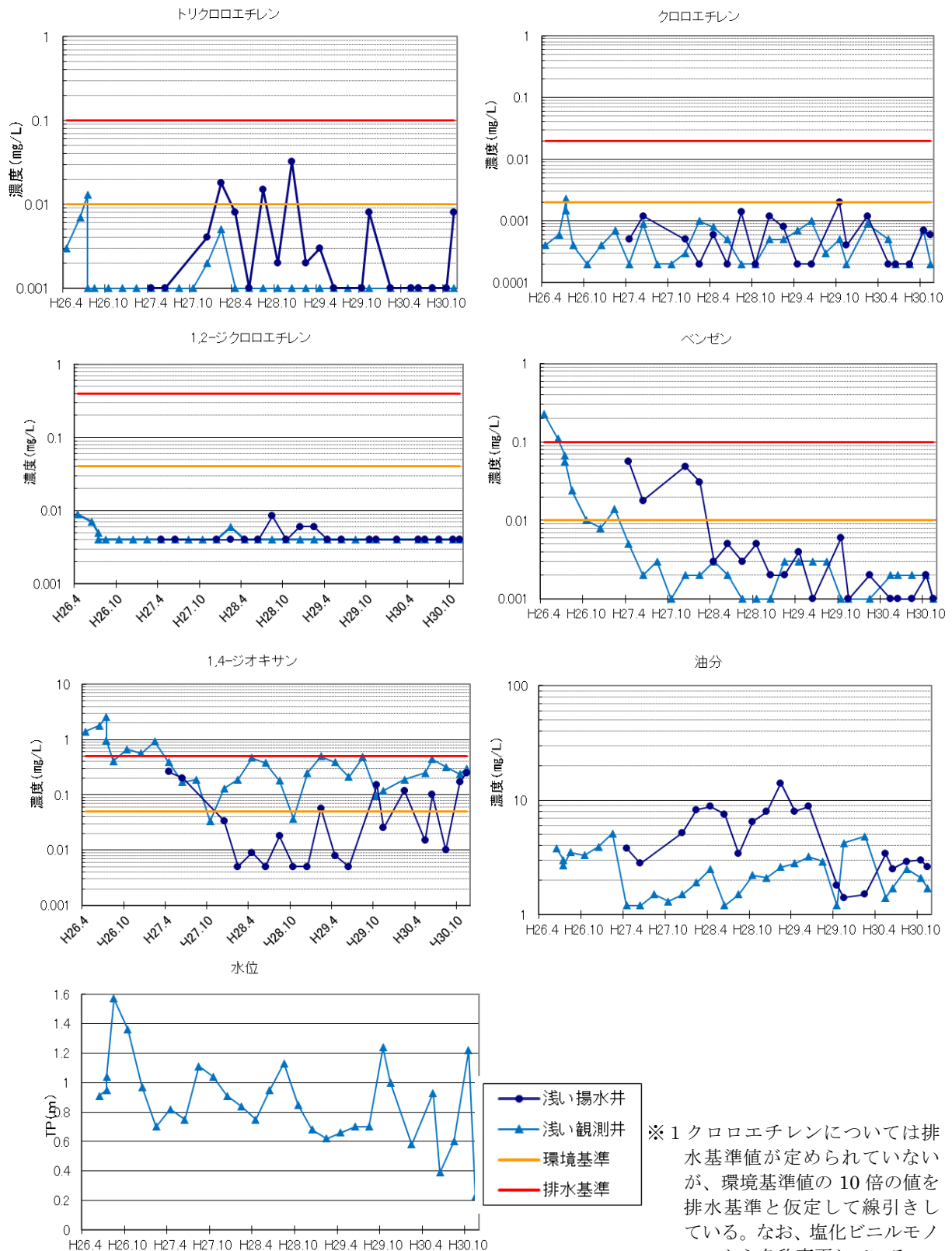


図6 (C, 3+10) 地点の地下水の状況

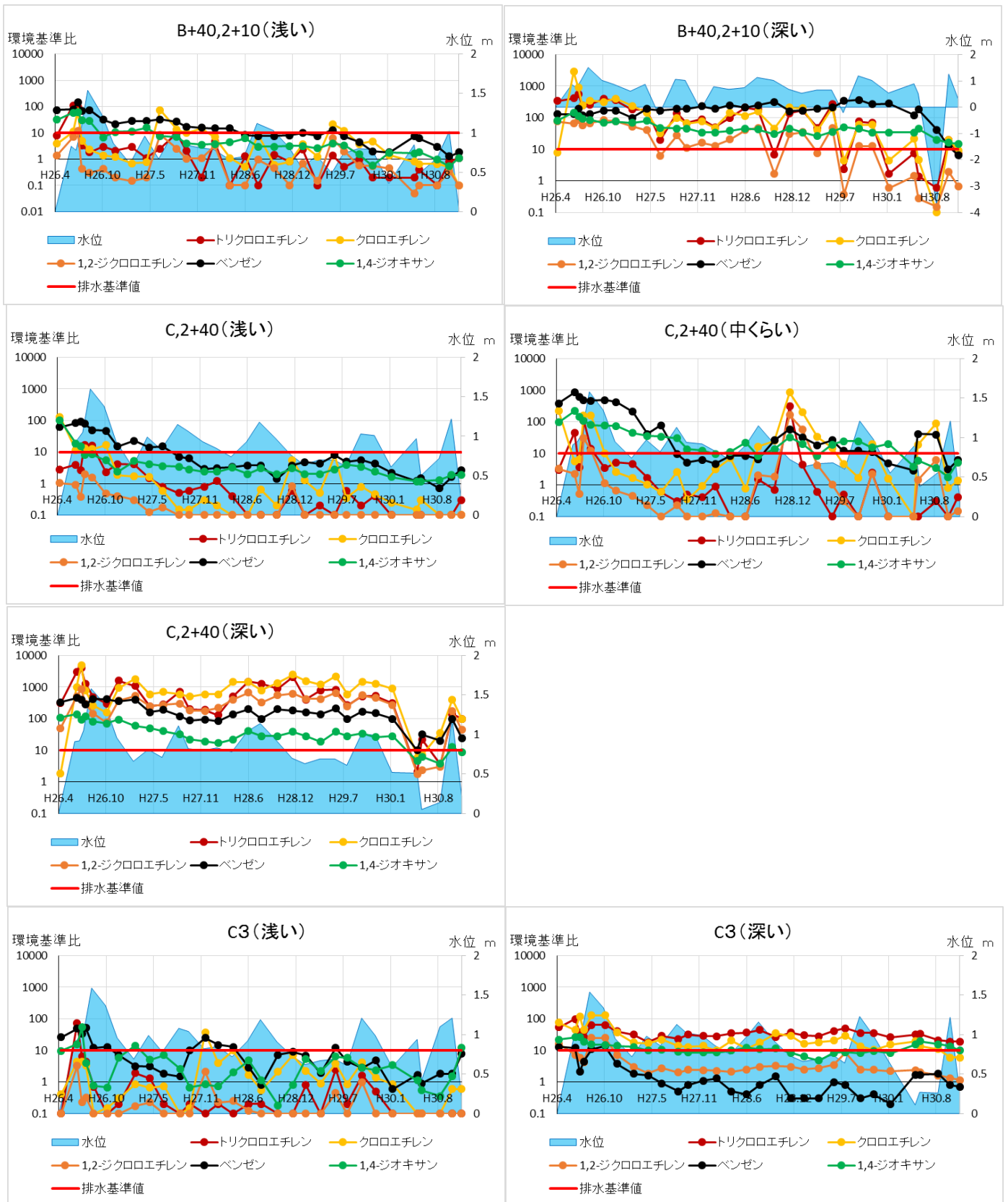
表 1 これまでの月間揚水量

	B+40, 2+10		C, 2+40		C, 3+10	備考
	浅い揚水井	深い揚水井	浅い揚水井	深い揚水井	浅い揚水井	
H26年度小計	142.8 m ³	—	289.7 m ³	—	—	H26.6.23～H26.11以降は故障停止
H27年度小計	285.7 m ³	70.7 m ³	346.9 m ³	43.7 m ³	833 m ³	C,3+10 浅い揚水井は 12月24日から揚水停止して浄化確認中
H28年度小計	146.2 m ³	49.9 m ³	373.6 m ³	21.9 m ³	0 m ³	C,3+10 浅い揚水井は H27.12月24日から揚水停止して浄化確認中
H29年度小計	747.8 m ³	98.2 m ³	365.5 m ³	69.2 m ³	0 m ³	C,3+10 浅い揚水井は H27.12月24日から揚水停止して浄化確認中
H30.4	92.3 m ³	10.2 m ³	15.3 m ³	7.2 m ³	浄化の状態を見るために停止中	集水井施工時、集水井からの滲み出し水を揚水
H30.5	79.4 m ³	8.7 m ³	24.2 m ³	6.2 m ³		集水井施工時、集水井からの滲み出し水を揚水
H30.6	136 m ³	8.3 m ³	15 m ³	7.1 m ³		集水井施工時、集水井からの滲み出し水を揚水
H30.7	35.0 m ³	—	1.6 m ³	1.7 m ³		7/5～8の大雨により D 測線西側が冠水したため、揚水を停止
H30.8	63.7 m ³	—	14.7 m ³	3.4 m ³		集水井施工時、集水井からの滲み出し水を揚水
H30.9	68.2 m ³	—	25.6 m ³	1.9 m ³		集水井施工時、集水井からの滲み出し水を揚水
H30.10	51.4 m ³	—	45.8 m ³	9.4 m ³		大雨により D 測線西側が冠水したため、揚水を停止
H30.11	8.7 m ³	—	1.5 m ³	4.0 m ³		C,2+40 浅い揚水井は配管詰りのため 11月中旬頃から揚水が停止
H30.12	19.8 m ³	—	3.4 m ³	8.2 m ³		C,2+40 浅い揚水井は配管詰りのため 12月4日まで揚水が停止
H31.1	5.3 m ³	—	0.2 m ³	5.3 m ³		
累計揚水量	約 1882 m ³	約 246 m ³	約 1523 m ³	約 189 m ³		約 838 m ³

※ (B+40, 2+10) の深い揚水井については、平成30年7月3日に、集水井施工時に削孔した横ボーリングが当該揚水井を貫通したため、以降の揚水ができず欠測とした。

各観測井の状況

(参考)



物質毎に環境基準比で表示した観測井地下水データ（1が環境基準値、10が排水基準値）

※クロロエチレンについては、排水基準値が定められていないので、暫定的に環境基準値の10倍としてある

(参考)

表 水質調査結果

B+40.2+10 観測井(浅い)	H26.4.10	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17	H27.8.27	H27.10.7	H27.12.11	H28.2.3	H28.4.7	H28.6.10	H28.8.4	H28.10.11	H28.12.15	H29.2.6	H29.4.10	H29.6.12	H29.7.31	H29.10.2	H29.11.28	H30.2.6	H30.5.23	H30.6.11	H30.8.27	H30.10.17	H30.11.26	定量下限値	地下水 環境基準	採水基準
トリクロロエチレン	0.080	1.1	1.0	0.034	0.018	0.030	0.021	0.029	0.011	0.025	0.097	0.021	0.002	0.048	ND	0.013	ND	0.015	0.008	0.024	ND	0.014	0.005	0.010	0.002	0.002	0.002	0.004	0.001	0.008	0.011	0.001	0.01	0.1
クロロエチレン	0.0077	0.022	0.13	0.010	0.0046	0.0028	0.0024	0.0014	0.0015	0.15	0.027	0.020	0.030	0.014	0.0022	0.0010	0.017	0.0012	0.0016	0.0073	0.0025	0.044	0.024	0.0076	0.0096	0.0028	0.0016	0.0013	0.0013	0.0010	ND	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン	0.056	0.28	0.49	0.017	0.012	0.017	0.008	0.006	0.008	0.34	0.10	0.042	0.043	0.13	ND	0.004	0.038	0.018	ND	0.027	0.006	0.25	0.079	0.023	0.022	0.018	0.002	ND	0.004	0.014	0.004	0.004	0.04	0.4
ベンゼン	0.73	0.79	1.5	0.68	0.75	0.32	0.22	0.28	0.28	0.33	0.27	0.17	0.16	0.15	0.15	0.084	0.077	0.077	0.081	0.10	0.077	0.13	0.073	0.045	0.020	0.018	0.073	0.062	0.030	0.013	0.018	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン	1.6	2.9	3.1	1.5	1.4	0.34	0.54	0.58	0.78	0.38	0.35	0.20	0.18	0.19	0.22	0.31	0.15	0.15	0.16	0.16	0.13	0.20	0.17	0.077	0.028	0.088	0.083	0.093	0.048	0.027	0.056	0.005	0.05	0.5
油分		17	13	15	17	5.7	5.6	4.0	2.9	5.9	12	8.5	9.8	6.4	11	5.0	3.1	3.5	3.6	5.0	4.3	6.6	5.0	3.9	3.2	3.2	3.7	3.3	2.5	2.0	2.5	0.5	-	鉱物、脂質等
水位		0.83	0.78	0.98	1.54	1.24	0.87	0.61	0.96	0.67	1.04	0.85	0.81	0.79	0.67	0.70	1.12	1.03	0.82	0.56	0.71	0.49	0.74	0.80	0.79	0.36	0.85	0.48	0.68	1.02	0.05	-	-	-

B+40.2+10 観測井(深い)	H26.4.10	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17	H27.8.27	H27.10.7	H27.12.11	H28.2.4	H28.4.7	H28.6.14	H28.8.4	H28.10.11	H28.12.15	H29.2.6	H29.4.10	H29.6.12	H29.7.31	H29.10.2	H29.11.28	H30.2.6	H30.5.24	H30.6.11	H30.8.27	H30.10.17	H30.11.26	定量下限値	地下水 環境基準	採水基準
トリクロロエチレン	3.4	4.1	5.5	2.5	2.6	3.9	3.6	1.8	1.8	0.20	1.4	0.67	0.89	0.50	1.0	2.1	1.8	0.067	1.4	1.7	0.48	2.7	0.024	0.76	0.69	0.017	0.075	0.014	0.006	0.20	0.072	0.001	0.01	0.1
クロロエチレン	0.016	5.8	1.8	0.50	0.70	0.63	0.81	0.47	0.29	0.064	0.20	0.13	0.15	0.095	0.29	0.23	0.31	0.091	0.42	0.40	0.080	0.41	0.0089	0.12	0.12	0.0090	0.043	0.0093	ND	0.040	0.016	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン	3.0	2.6	3.3	2.3	2.7	3.3	3.1	2.1	1.6	0.25	1.1	0.45	0.64	0.52	0.82	1.6	1.9	0.066	1.2	1.4	0.30	1.9	0.015	0.51	0.50	0.024	0.057	0.011	0.006	0.077	0.027	0.004	0.04	0.4
ベンゼン	1.3	1.3	1.9	1.2	1.3	1.7	1.7	1.0	1.9	1.7	1.9	1.9	2.3	1.9	2.5	2.1	2.5	3.2	1.6	1.7	1.9	2.1	3.4	3.7	2.7	2.8	1.2	1.8	0.41	0.12	0.065	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン	4.1	7.2	5.6	4.6	4.3	3.4	3.8	3.4	4.0	2.4	2.3	2.3	1.7	1.7	1.9	2.3	2.1	1.5	2.3	1.7	1.3	1.8	2.5	2.2	1.7	1.7	1.7	2.2	1.0	0.81	0.75	0.005	0.05	0.5
油分		5.3	5.8	4.9	5.4	6.4	7.4	5.5	4.4	4.5	5.9	5.9	5.2	4.5	5.4	4.9	4.8	4.8	6.0	5.1	3.1	3.7	5.7	3.8	4.4	4.1	4.3	6.6	4.1	3.7	3.6	0.5	-	鉱物、脂質等
水位		0.86	0.74	0.99	1.51	1.02	0.87	0.61	0.87	-0.30	1.06	1.02	-0.10	0.78	0.68	0.74	1.13	1.02	0.68	0.53	0.65	0.65	-0.21	1.19	1.02	0.54	0.89	0.52	-3.71	1.26	0.31	-	-	-

B+40.2+10 揚水井(浅い)	H26.4.10	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17		H27.10.20	H27.12.11	H28.2.4	H28.4.7	H28.6.9	H28.8.4	H28.10.12	H28.12.14	H29.2.7	H29.4.11	H29.6.13	H29.8.1	H29.10.3	H29.11.29	H30.2.7	H30.5.24	H30.6.12	H30.8.28	H30.10.18	H30.11.27	定量下限値	地下水 環境基準	採水基準	
トリクロロエチレン	ND	0.080	0.010	0.007	ND	0.007	ND	0.13	(ND)	(ND)		ND	0.010	ND	0.020	ND	ND	0.003	0.003	ND	0.001	0.003	0.009	ND	ND	ND	0.001	0.002	ND	ND	ND	0.001	0.01	0.1	
クロロエチレン	0.0047	0.0030	0.019	0.0024	0.0044	0.0025	0.0021	0.022	(0.0066)	(0.026)		0.0024	0.0044	0.0014	0.017	0.0055	0.0021	0.0025	0.018	0.0022	0.0007	0.0047	0.0086	0.0007	0.0008	0.0004	0.0033	0.0014	0.0006	ND	ND	0.0002	0.002	(0.02)	
1,2-ジクロロエチレン	0.020	0.011	0.015	0.020	0.013	0.009	ND	0.066	(0.010)	(0.054)		0.005	0.009	ND	0.079	ND	ND	0.005	0.004	0.005	ND	0.008	0.047	ND	ND	ND	0.004	0.005	0.005	ND	ND	0.004	0.04	0.4	
ベンゼン	0.86	0.53	1.6	1.4	1.0	0.65	0.33	0.53	(0.27)	(0.46)	配管補修	0.81	0.19	0.27	0.075	0.17	0.10	0.076	0.071	0.16	0.066	0.58	0.013	0.55	0.011	0.12	0.12	0.046	0.016	0.18	0.028	0.001	0.01	0.1	
1,4-ジオキサン	0.17	1.6	3.4	2.4	1.2	0.56	0.73	0.54	(0.48)	(0.43)		1.5	0.34	0.47	0.40	0.49	0.21	0.17	0.21	0.40	0.15	2.6	0.15	1.3	0.12	0.73	0.095	0.096	0.089	0.72	0.18	0.005	0.05	0.5	
油分		25	17	78	20	8.0	14	8.0	(3.9)	(5.7)		7.3	9.4	8.0	12	8.4	3.7	5.6	4.6	4.8	1.4	3.4	3.4	2.7	1.6	2.4	3.8	2.2	2.0	3.8	3.3	0.5	-	鉱物、脂質等	
水位		0.81		0.95	1.44			0.59																									-	-	-

B+40.2+10 揚水井(深い)	H26.4.10	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17		H27.10.20	H27.12.11	H28.2.4	H28.4.7	H28.6.9	H28.8.4	H28.10.12	H28.12.15	H29.2.7	H29.4.11	H29.6.13	H29.8.1	H29.10.3	H29.11.29	H30.2.7	H30.5.24	H30.6.12	H30.8.28	H30.10.18	H30.11.27	定量下限値	地下水 環境基準	採水基準	
トリクロロエチレン									(3.2)	(3.9)		1.9	2.0	2.0	0.75	1.0	0.065	0.72	0.011	0.30	0.67	0.54	0.91	0.38	0.67	0.36	0.21	0.19				0.001	0.01	0.1	
クロロエチレン									(0.45)	(0.6)		0.23	0.54	0.58	0.91	0.46	2.5	1.6	2.6	1.1	0.47	0.69	0.34	1.3	0.52	0.51	0.87	0.60				0.0002	0.002	(0.02)	
1,2-ジクロロエチレン									(3.8)	(3.7)		2.9	3.8	4.1	2.5	3.5	0.35	2.4	0.024	0.95	2.0	2.2	3.4	1.9	2.3	1.8	2.2	3.0				0.004	0.04	0.4	
ベンゼン									(2.2)	(2.4)	配管補修	1.6	1.9	2.4	1.4	2.0	3.3	5.5	3.2	1.5	1.3	3.0	0.13	1.9	1.5	1.3	1.8	2.3				0.001	0.01	0.1	
1,4-ジオキサン									(2.7)	(2.8)		3.3	2.1	2.5	2.4	2.4	1.9	4.2	2.4	1.7	1.1	2.4	2.3	1.9	1.3	1.6	1.9	1.8				0.005	0.05	0.5	
油分									(4.4)	(5.3)		7.5	6.9	6.9	6.7	6.0	4.5	4.6	4.8	4.7	1.4	3.2	5.3	3.1	3.6	3.2	4.2	3.7				0.5	-	鉱物、脂質等	
水位																																	-	-	-

揚水井損傷により欠測

表(続き) 水質調査結果

観測井C3北(浅い)	H26.2.19	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.21	H27.6.17	H27.8.26	H27.10.6	H27.12.10	H28.2.2	H28.4.6	H28.6.10	H28.8.1	H28.10.11	H28.12.14	H29.2.7	H29.4.10	H29.6.12	H29.7.31	H29.10.2	H29.11.28	H30.2.7	H30.5.23	H30.6.11	H30.8.27	H30.10.17	H30.11.26	定量下限値	地下水環境基準	排水基準
トリクロエチレン	ND	0.72	0.065	0.045	0.007	ND	0.002	0.019	0.013	0.002	ND	0.002	ND	0.002	ND	0.002	ND	ND	0.008	ND	0.025	0.002	0.016	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01	0.1		
クロロエチレン	0.0008	0.0090	0.0089	0.0066	ND	0.0003	0.0006	0.0017	0.0013	0.0015	0.0002	0.0003	0.0073	0.0079	0.020	0.0033	0.0011	0.0042	0.014	0.0045	0.0018	0.0077	0.0017	0.0085	0.0027	0.0017	ND	ND	ND	0.0012	0.0012	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン	ND	0.13	0.009	0.013	ND	ND	ND	0.007	0.009	ND	ND	ND	0.084	0.009	0.01	0.005	ND	ND	0.004	ND	ND	0.018	ND	0.039	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.04	0.4	
ベンゼン	0.26	0.49	0.33	0.51	0.12	0.13	0.071	0.032	0.031	0.018	0.015	0.10	0.25	0.15	0.13	0.03	0.008	0.073	0.089	0.069	0.019	0.12	0.044	0.028	0.048	0.006	0.017	0.009	0.018	0.018	0.077	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン	0.48	0.79	2.7	0.20	0.038	0.034	0.30	0.72	0.25	0.35	0.13	0.034	0.042	0.036	0.10	0.24	0.057	0.009	0.041	0.27	0.11	0.32	0.29	0.14	0.12	0.17	0.056	0.027	0.018	0.074	0.60	0.005	0.05	0.5
油分		7.7	5.0	2.8	2.3	2.5	4.1	4.1	2.1	3.5	2.5	3.3	2.8	3.5	2.6	1.9	1.6	1.6	1.2	2.2	1.2	2.6	2.4	2.7	1.8	1.1	2.1	1.4	2.2	3.1	4.3	0.5	-	試験5、試験物10
水位		0.91	0.97	1.05	1.59	1.37	0.96	0.69	0.99	0.78	1.08	1.04	0.82	0.85	0.72	0.92	1.19	0.91	0.73	0.62	0.67	0.69	0.61	1.21	0.99	0.59	0.94	0.42	1.10	1.21	0.22	-	-	-

観測井C3南(深い)	H26.2.19	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.21	H27.6.17	H27.8.26	H27.10.6	H27.12.10	H28.2.2	H28.4.6	H28.6.10	H28.8.1	H28.10.11	H28.12.14	H29.2.7	H29.4.10	H29.6.12	H29.7.31	H29.10.2	H29.11.28	H30.2.7	H30.5.23	H30.6.11	H30.8.27	H30.10.17	H30.11.26	定量下限値	地下水環境基準	排水基準
トリクロエチレン	0.54	0.98	0.37	0.27	0.64	0.64	0.40	0.32	0.18	0.29	0.23	0.32	0.29	0.28	0.35	0.37	0.45	0.27	0.37	0.30	0.28	0.41	0.50	0.36	0.36	0.26	0.32	0.33	0.21	0.19	0.19	0.001	0.01	0.1
クロロエチレン	0.15	0.088	0.24	0.088	0.26	0.26	0.074	0.035	0.034	0.044	0.028	0.026	0.028	0.020	0.041	0.023	0.035	0.070	0.058	0.032	0.036	0.041	0.059	0.027	0.021	0.031	0.039	0.027	0.022	0.012	0.012	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン	0.65	0.29	0.23	0.17	1.0	1.0	0.29	0.12	0.074	0.11	0.081	0.098	0.095	0.090	0.085	0.10	0.12	0.13	0.12	0.099	0.11	0.14	0.34	0.10	0.098	0.088	0.095	0.083	0.064	0.053	0.046	0.004	0.04	0.4
ベンゼン	0.13	0.12	0.021	0.045	0.11	0.14	0.038	0.018	0.016	0.009	0.005	0.008	0.011	0.013	0.005	0.004	0.008	0.015	0.003	0.003	0.003	0.010	0.008	0.003	0.004	0.002	0.017	0.017	0.018	0.008	0.007	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン	1.1	1.3	1.3	0.92	0.77	0.75	0.69	0.65	0.50	0.52	0.46	0.43	0.43	0.43	0.49	0.61	0.55	0.57	0.42	0.32	0.24	0.42	0.44	0.41	0.48	0.41	0.76	0.97	0.78	0.68	0.50	0.005	0.05	0.5
油分		3.7	2.9	3.6	3.4	2.8	3.0	2.6	2.3	2.5	2.6	3.0	2.9	3.7	2.7	1.8	2.4	3.0	1.8	1.8	0.7	1.9	1.5	1.6	1.9	1.9	3.0	3.3	3.5	3.8	3.5	0.5	-	試験5、試験物10
水位		0.93	0.98	1.05	1.54	1.34	0.95	0.72	0.98	0.86	1.13	1.02	0.99	0.86	0.75	0.96	1.16	0.91	0.73	0.66	0.69	0.74	0.64	1.23	0.99	0.63	0.11	0.27	0.26	1.22	0.28	-	-	-

C3+10 観測井(浅い)	H26.4.15	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17	H27.8.26	H27.10.7	H27.12.10	H28.2.3	H28.4.7	H28.6.9	H28.8.4	H28.10.12	H28.12.15	H29.2.6	H29.4.10	H29.6.13	H29.8.1	H29.10.3	H29.11.29	H30.2.6	H30.5.23	H30.6.12	H30.8.28	H30.10.18	H30.11.27	定量下限値	地下水環境基準	排水基準
トリクロエチレン	0.003	0.007	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.005	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.01	0.1
クロロエチレン	0.0004	0.0006	0.0023	0.0015	0.0004	ND	0.0004	0.0007	ND	0.0009	ND	ND	0.0003	0.0010	0.0008	0.0005	ND	ND	0.0005	0.0005	0.0007	0.0010	0.0003	0.0005	0.0002	0.0009	0.0005	ND	ND	0.0007	0.0002	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン	0.009	0.007	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.04	0.4
ベンゼン	0.23	0.11	0.067	0.057	0.024	0.010	0.008	0.014	0.005	0.002	0.003	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003	0.003	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン	1.4	1.8	2.6	0.95	0.41	0.67	0.56	0.93	0.39	0.17	0.19	0.033	0.13	0.19	0.47	0.38	0.18	0.037	0.25	0.50	0.39	0.21	0.48	0.096	0.12	0.19	0.25	0.44	0.32	0.24	0.30	0.005	0.05	0.5
油分		3.8	3.0	2.7	3.5	3.3	3.9	5.1	1.2	1.2	1.5	1.3	1.5	1.9	2.5	1.2	1.5	2.2	2.1	2.6	2.8	3.2	2.9	1.2	4.2	4.8	1.4	1.7	2.5	2.1	1.7	0.5	-	試験5、試験物10
水位		0.91	0.95	1.04	1.57	1.36	0.97	0.70	0.82	0.75	1.11	1.04	0.91	0.84	0.75	0.95	1.13	0.85	0.68	0.62	0.66	0.70	0.70	1.24	1.00	0.58	0.93	0.39	0.60	1.22	0.23	-	-	-

C3+10 揚水井(浅い)	H26.4.15	H26.6.17	H26.7.7	H26.7.24	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18	H27.4.22	H27.6.17			H27.12.11	H28.2.4	H28.4.7	H28.6.9	H28.8.4	H28.10.12	H28.12.15	H29.2.7	H29.4.11	H29.6.13		H29.10.3	H29.11.29	H30.2.7	H30.5.24	H30.6.12	H30.8.28	H30.10.18	H30.11.27	定量下限値	地下水環境基準	排水基準
トリクロエチレン										ND	ND		0.004	0.018	0.008	0.001	0.015	0.002	0.032	0.002	0.003	ND		0.001	0.008	ND	ND	ND	ND	0.001	0.008	0.001	0.01	0.1
クロロエチレン										0.0005	0.0012		0.0005	ND	0.0006	ND	0.0014	ND	0.0012	0.0008	ND	ND		0.0020	0.0004	0.0012	ND	ND	ND	0.0007	0.0006	0.0002	0.002	(0.02)
1,2-ジクロロエチレン										ND	ND		ND	ND	ND	ND	0.009	ND	0.006	0.006	ND	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.04	0.4	
ベンゼン										0.056	0.018	配管補修	0.049	0.031	0.003	0.005	0.003	0.005	0.002	0.002	0.004	0.001		0.006	0.001	0.002	ND	ND	ND	0.002	0.001	0.001	0.01	0.1
1,4-ジオキサン										0.26	0.20	ポンプ故障	0.034	0.005	0.009	ND	0.018	ND	ND	0.057	0.008	ND		0.15	0.025	0.12	0.015	0.10	0.010	0.17	0.25	0.005	0.05	0.5
油分										3.8	2.8		5.2	8.2	8.8	7.5	3.4	6.5	7.9	14	8.0	8.8		1.8	1.4	1.5	3.4	2.5	2.9	3.0	2.6	0.5	-	試験5、試験物10
水位																																		

※ 高濃度の妨害物質が存在したことから、希釈を行ったため報告下限値を変更した。

(注) 空欄は未測定である。また、クロロエチレンに排水基準は定められていないが、便宜上地下水環境基準の10倍で表示している。

黄色は環境基準値超過、橙色は排水基準値超過である。

トリクロエチレンの環境基準は平成26年11月17日から0.03→0.01mg/Lへ改正された。

トリクロエチレンの排水基準は平成27年10月21日から0.3→0.1mg/Lへ改正された。

揚水井については、配管補修前は水質が混じり合っている可能性があるため、参考値である。

クロロエチレンは、平成29年4月1日から塩化ビニルモノマーから名称変更された。

D測線西側の集水井の設置工事

1. 概要

D測線西側の集水井の設置工事については、第26回排水・地下水等対策検討会において実施計画の了承を得て、1月末に現場作業が完了したところである。

2. これまでの手続き状況

これまでのD測線西側の集水井の設置工事の審議等の手続き状況は、表1のとおりである。

表1 集水井の設置工事の手続き状況

		D測線西側の集水井の設置工事
工事の実施事業者		青葉工業(株)
工期		H29.10.19～H31.3.29
手続き の状況	発注仕様書の作成	H29.7～8
	発注仕様書の審議	第1回地下水・雨水等対策検討会で審議済み(H29.9.3)
	入札公告	H29.9.14～H29.10.10
	実施事業者の決定	H29.10.11
	実施計画書の審議	第2回地下水・雨水等対策検討会前に持ち回り (H29.10.30)

3. 現在の工事の実施状況

度重なる台風等による大雨の影響などで作業に遅延が生じる中、5月末に縦井戸が完成し、11月上旬に横ボーリングが完了し、1月にポンプの設置が完了した。



写真1 集水井施工状況 (H31. 1. 19 撮影)

表2 集水井工事の実施スケジュール（H31.1.19時点の実績）

内容	施工期間															
	平成 29 年度						平成 30 年度									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
集水井			↔		↔		↔	↔	↔							
集水ボーリング									↔			↔	↔	↔		
仮設ポンプ設置									↔		※	↔	↔	※		↔
ポンプ設置																
地盤改良				↔												
鋼矢板							↔		↔							

※大雨によりD測線西側が冠水したため、作業を中断した。

4. 今後の予定

今後、各横ボーリングの採水を行い、濃度変動の評価を行う予定としている。

井戸側の水質の状況

1. 概要

処分地の浅い層の地下水を浄化することを目的として、ベンゼンが排水基準値を超過していた概況調査⑳、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗の地点及びD測線西側に井戸側を設置している。また、井戸側設置後の平成30年4月の調査時にベンゼンが排水基準値を超過していた井戸側3及び6については、揚水浄化を実施している。

今回、平成31年1月に実施した水質調査結果について報告する。



図 1 井戸側の設置位置



写真 1 井戸側の設置状況

2. 井戸側の定期モニタリング結果

(1) 実施日

平成31年1月7日

(2) 調査体制

調査及び分析機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

(3) 調査地点

井戸側3及び6（図1）

(4) 調査項目

ベンゼン

3. 調査結果

水質調査結果を表1に、これまでの月間揚水量を表2に示す。

井戸側3については、前回の調査と同様にベンゼンが排水基準値を超過していた。

また、井戸側6については、乾期に入り揚水量がほとんどない状況であったため井戸側内の溜まり水の水質を確認したところ、今回の調査ではベンゼンが排水基準値を満足していた。このため、次回以降の調査において、揚水量が大きい状況での水質についても確認する予定である。

表1 水質調査結果

井戸側	井戸側設置後			(参考) 井戸側設置前
	H30.4.23	H30.11.5	H31.1.7	H28.4~H29.7 ベンゼン
	ベンゼン			
1	0.010	—	—	0.16
2	0.005	—	—	0.15
3	0.35	0.21	0.18	0.64
4	0.049	—	—	0.16
5	0.008	—	—	0.82
6	0.40	0.77	<0.001	0.28
7	0.009	—	—	0.22
排水基準値	0.1			
検出下限値	0.001			

単位：mg/L

橙色は排水基準値を超過、黄色は環境基準値を超過である。

※井戸側設置前の調査結果は、該当箇所における観測孔の調査結果である。

表2 これまでの月間揚水量

年月	井戸側3 (m ³)	井戸側6 (m ³)	備考
H30.4	20	1	井戸側3については4/27~5/4 及び 5/19~ 揚水
H30.5	185	12	井戸側6については4/27~5/4 及び 5/22~ 揚水
H30.6	242	31	
H30.7	671	167	7/5~8大雨による水管理の為に停止
H30.8	0	0	集水井工事を優先する為に停止
H30.9	0	0	集水井工事を優先する為に停止
H30.10	0	0	集水井工事を優先する為に停止
H30.11	15	10	井戸側3については11/4 揚水 井戸側6については11/2~11/4 揚水
H30.12	115	6	12/14~ 揚水
H31.1	35	0	
累計	1,268	227	

4. 今後の予定

引き続き、揚水浄化による浅い層の地下水浄化対策を実施するとともに、排水基準値を満足している他の井戸側も含めて、定期的に水質を確認していく。

集水井から湧出する地下水の処理の検討結果

1. 概要

集水井から湧出する地下水の処理については、第 5 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H30.11.25 開催）において既存の排水処理装置を活用した処理の検討状況を報告しており、引き続き検討を進めている。

今回、既存の凝集膜分離装置及び活性炭吸着塔を活用する処理方法において、処理水が管理基準を満足することを確認したので報告する。

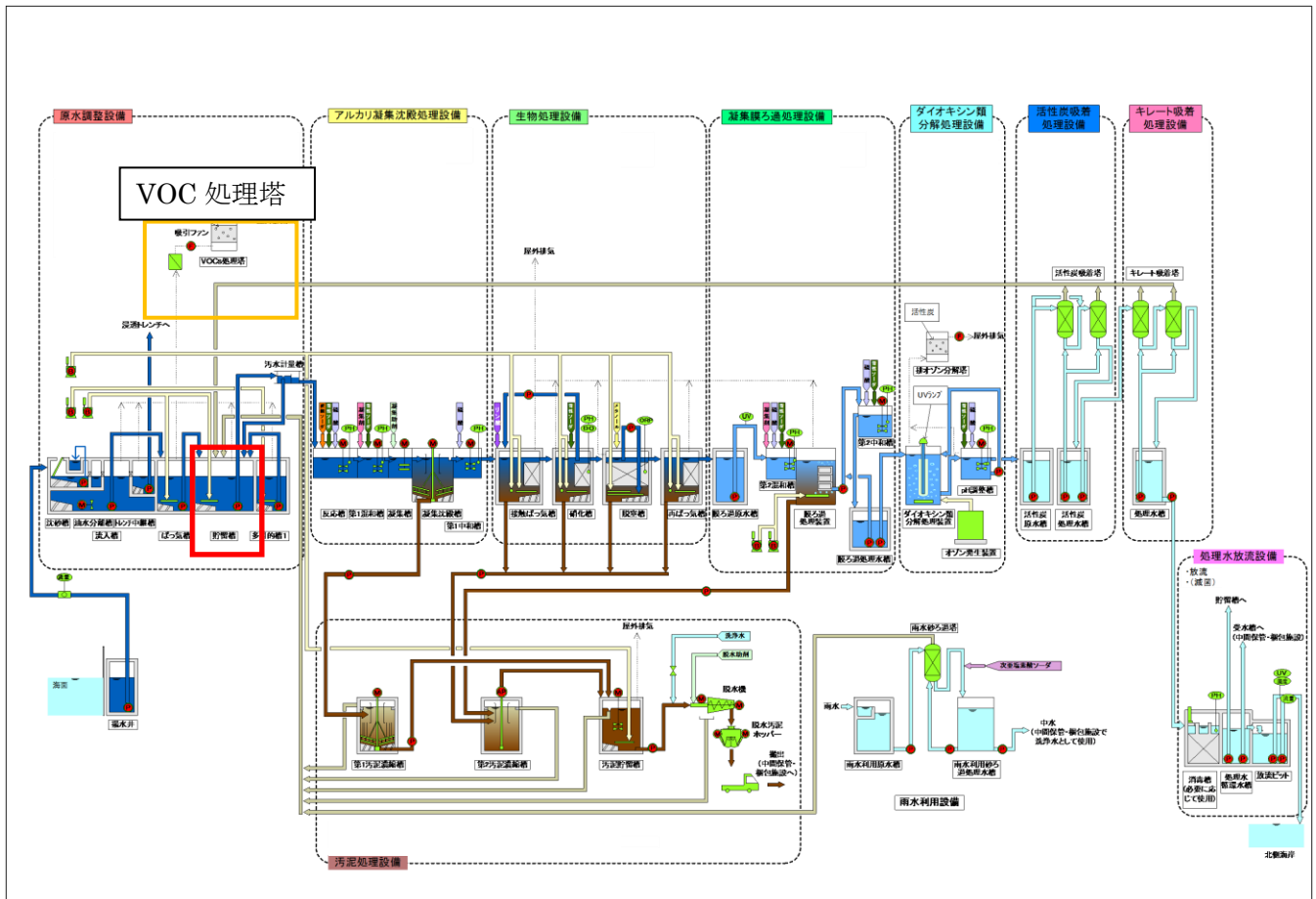


図 1 高度排水処理施設の設備及び処理フロー（赤枠部分がばっ気処理に活用する貯留槽）
※これ以外に、既存の排水処理装置として凝集膜分離装置、活性炭吸着塔及び加圧浮上装置がある。

2. 処理試験結果

(1) 貯留槽におけるばっ気処理試験結果（第5回地下水検討会において報告済）

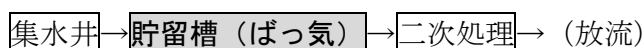
①処理試験の概要

地下水中のVOCの除去を目的とし、高度排水処理施設の貯留槽におけるばっ気処理を3日間程度連続して実施し、処理水質及び稼働状況について確認した。

②実施日

平成30年11月12日～15日

③処理フロー案



④処理試験結果

貯留槽におけるばっ気処理前後の水質を表1に示す。トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン及びベンゼンの濃度が低減化されたことから、ばっ気処理により、VOCが除去されることを確認した。

なお、化学的酸素要求量(COD)が管理基準値を超過するとともに、浮遊物質質量(SS)が管理基準値と同程度であったことから、追加の処理が必要と考えられる。

表1 貯留槽におけるばっ気処理前後の水質(mg/L)

		処理前	ばっ気処理後		管理基準値
		(集水井から湧出する地下水)	(2日後)	(3日後)	
採水年月日		H30.11.12	H30.11.14	H30.11.15	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.9	8.2	5.0～9.0
	化学的酸素要求量(COD)	<u>65</u>	<u>66</u>	<u>66</u>	30
	浮遊物質質量 (SS)	<u>81</u>	<u>61</u>	48	50
	油分	4.6	4.0	3.7	35
健康項目 (VOC等)	トリクロロエチレン	0.07	0.01	<0.01	0.1
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.04	<0.04	0.4
	クロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	(0.02)
	ベンゼン	0.07	<0.01	<0.01	0.1
	1,4-ジオキサン	0.34	0.37	0.38	0.5

※下線部が管理基準値超過である。

※クロロエチレンについては管理基準値が定められていないため、環境基準値の10倍の値を括弧書きで記載した。

(2) 凝集膜分離装置における処理試験結果

①処理試験の概要

貯留槽におけるばっ気処理後の処理水のCODが管理基準値を超過するとともに、SSが管理基準値と同程度であったことから、COD及びSSの除去を目的とし、貯留槽におけるばっ気処理後の処理水を凝集膜分離装置に導水し、処理水質及び稼働状況について確認した。

②実施日

平成30年11月19日～22日

③処理フロー案

集水井 → 貯留槽 (ばっ気処理) → 凝集膜分離装置 → (放流)

④処理試験結果

凝集膜分離装置における処理前後の水質を表2に示す。凝集膜分離装置における処理により、SSが除去されることを確認した。

また、CODについても4割程度除去されることを確認したが、管理基準値を超過していたことから、さらなる追加の処理が必要と考えられる。

表2 凝集膜分離装置における処理前後の水質(mg/L)

		処理前	凝集膜分離処理後		管理基準値
		(ばっ気処理後)	(2日後)	(3日後)	
採水年月日		H30.11.15	H30.11.20	H30.11.21	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.2	7.7	7.3	5.0～9.0
	化学的酸素要求量(COD)	66	42	41	30
	浮遊物質量 (SS)	48	<1	<1	50
	油分	3.7	3.5	3.4	35
健康項目 (VOC等)	トリクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
	クロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	(0.02)
	ベンゼン	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	1,4-ジオキサン	0.38	0.28	0.27	0.5

※下線部が管理基準値超過である。

※クロロエチレンについては管理基準値が定められていないため、環境基準値の10倍の値を括弧書きで記載した。

※処理前の水質は、表1のばっ気処理後(3日後)と同じものである。

(3) 活性炭吸着塔における処理試験結果

①処理試験の概要

凝集膜分離装置における処理後のCODが管理基準値を超過していたことから、CODの除去を目的とし、貯留槽におけるばっ気処理及び凝集膜分離装置による処理後の処理水を活性炭吸着塔に導水し、処理水質及び稼働状況について確認した。

②実施日

平成30年12月3日～5日

③処理フロー案

集水井 → 貯留槽 (ばっ気処理) → 凝集膜分離装置 → 活性炭吸着塔 → (放流)

④処理試験結果

活性炭吸着塔における処理後の水質を表3に示す。活性炭吸着塔における処理により、CODが除去されることを確認するとともに、管理基準値を満足していた。

この処理方法により、凝集膜分離装置の処理能力分 (50 m³/日) の処理量アップが可能になると考えられる。

表3 活性炭吸着塔における処理後の水質 (mg/L)

検査項目	活性炭処理後		管理基準値	
	(2日後)	(3日後)		
	H30.12.4	H30.12.5		
1	水素イオン濃度 (pH)	7.0	6.7	5.0～9.0
2	化学的酸素要求量 (COD)	7.3	6.9	30
3	浮遊物質 (SS)	<1	<1	50
4	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	<1	<1	35
5	フェノール類	<0.02	-	5
6	亜鉛含有量	<0.5	-	2
7	溶解性鉄含有量	0.08	-	10
8	溶解性マンガン含有量	4.9	-	10
9	窒素含有量	61	-	120
10	リン含有量	<0.1	-	16
11	砒素及びその化合物	<0.01	-	0.1
12	トリクロロエチレン	<0.01	<0.01	0.1
13	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.04	<0.04	0.4
14	クロロエチレン	<0.002	-	-
15	ベンゼン	<0.01	<0.01	0.1
16	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	26	-	100
17	1,4-ジオキサン	0.05	0.06	0.5
18	ダイオキシン類	0.080	-	10 (pg-TEQ/L)

(備考) 検査方法は、平成10年6月16日付け環境庁・厚生省告示第1号に規定する方法による。
ダイオキシン類は、平成12年1月14日付け環境庁・厚生省告示第1号に規定する方法による。

3. 既存の排水処理装置を活用した処理の検討結果（まとめ）

今回の処理試験において、既存の凝集膜分離装置と活性炭吸着塔を活用することにより、処理水が管理基準を満足することを確認した。

処理の検討結果を踏まえた処分地内の水処理フローは図2のとおりとなり、流入制御装置や配管等を設けることにより凝集膜分離装置の処理能力分（50 m³/日）の処理量アップが可能となり、高度排水処理施設の処理能力分（80 m³/日）を含めると最大 130 m³/日となる。これに加えて、原水調整設備余剰量は貯留トレンチに貯留して定期的に水質を確認し、管理基準を超過する場合は既存の排水処理装置で処理することを併用しながら、集水井等から湧出する地下水の処理を進めていく予定としている。

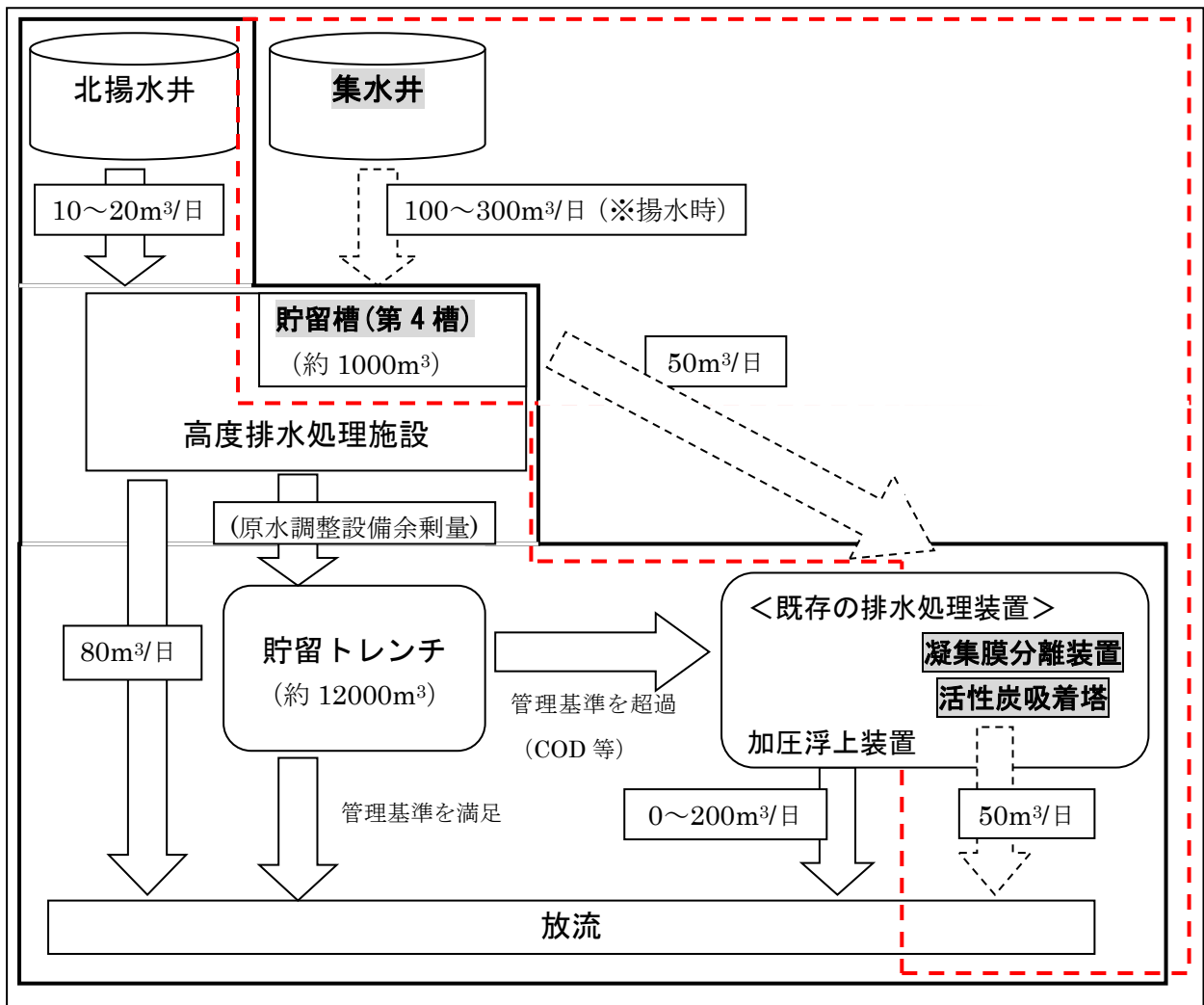


図2 処分地内の水処理フロー

(太枠内は既存の処理フロー、破線内は今回検討した処理フローを示している。)

4. 今後の予定

今後、早急に設備改造等を実施することとし、集水井等から湧出する地下水の処理を進めていく。

化学処理による原位置浄化等を実施する区画の事前調査結果

1. 概要

地下水汚染領域の把握のために実施した深い層の調査の結果、判明した地下水汚染のうち、相対的に高濃度であった②、⑨及び⑩の区画については、その他の区画に先行して浄化を図ることとしており、今回、そのために必要となる基礎情報について調査を行ったことから、その結果を報告する。

2. 調査項目等

調査については、前回の当検討会（平成 30 年 11 月 25 日開催：資料 II / 6）で報告したとおり、以下の項目について、実施した又は実施中である。

(1) 地下水調査

- 10mメッシュの区画（以下「小区画」という。）における 2.5m 深度毎の地下水調査については、調査・報告済みである。（→別添 1）
- 小区画（⑨-4）に隣接する小区画（⑭-6）における 2.5m 深度毎の地下水について、調査を実施した。（→表 1）
- 地下水の水質調査（pH、TOC、EC、ORP、DO、油分等）について、調査を実施した。（→表 2）

(2) 土壌調査

- 相対的に地下水濃度が高い小区画（②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）における 0.5m 深度毎の土壌溶出量について、調査を実施した。（→表 3～6）
- 区画（②、⑨及び⑩）のうち、上記を除く小区画及び小区画（⑨-4）に隣接する小区画（⑭-6）における、1 m 深度毎の土壌溶出量について、調査を実施した。（→表 7～30）
- 小区画（②-5、⑨-5 及び⑩-5）における土質試験（透水係数、N 値、有機物量等）について、実施した。（→別紙「ボーリング柱状図」）
なお、粒度試験については、現在実施中である。

(3) 化学処理の適用可能性試験

- 豊島処分地内の地下水及び土壌を対象にした適用可能性試験について、報告済みである。（→別添 2）
- 化学処理による原位置浄化を実施する高濃度汚染地点（小区画②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）の地下水及び土壌を対象にした適用可能性試験について、実施した。（→別紙「高濃度汚染地点の土壌及び地下水を対象にした適用可能性試験結果」）

なお、処分地における各区画の位置は図1において、30mメッシュの区画は左図のとおりであり、30mメッシュの中の10mメッシュの小区画は右図のとおりである。

(例：②の区画の中の1の小区画は「②-1」のように枝番で表記している。)



図1 区画位置

2. 調査結果

(1) 地下水調査

○小区画(⑭-6)における2.5m深度毎の地下水調査結果

小区画(⑨-4)で1,4-ジオキサンが高濃度で検出されており、汚染の中心を調べるために西隣の小区画(⑭-6)において地下水を調べたところ、排水基準は超過していたものの、小区画(⑨-4)と比較すると小さい値であった。

表1 小区画(⑭-6)における地下水調査結果

30mメッシュの区画	⑭				⑨			地下水環境基準	排水基準	検出下限
	6				4					
採水深度(T.P.)m	+0.5~ -0.5	-0.6~ -1.6	-1.5~ -2.5	-3.5~ -4.3	+0.5~ -0.5	-1.4~ -2.4	-6.0~ -7.5			
検体採取日	H30.12.17	H30.12.14	H30.12.26	H30.12.26	H30.7.6	H30.7.9	H30.12.4			
ベンゼン	0.057	0.028	0.024	0.019	0.037	0.13	0.26	0.01	0.1	0.001
1,4-ジオキサン	5.7	9.4	0.79	0.36	53	32	1.3	0.05	0.5	0.005
トリクロロエチレン	0.004	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.1	0.002
1,2-ジクロロエチレン	0.007	0.004	ND	ND	ND	0.007	ND	0.04	0.4	0.004
クロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	(0.02)	0.0002
土質区分	礫混り粘土質砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	強風化花崗岩	強風化花崗岩	礫混り粘土質砂	礫混り砂 強風化花崗岩	強風化花崗岩	-	-	-

(注1) 黄色は環境基準値超過、橙色は排水基準値超過である。

(注2) 単位はmg/Lである。

(注3) クロロエチレンは排水基準が定められていないが、暫定的に環境基準値の10倍の値を排水基準の値として評価した。

(注4) 網掛けは報告済みの隣接小区画(⑨-4)である。

(注5) 土質区分については、柱状図から該当区間のものを上から順に記入した。

○地下水の水質調査結果 (pH、TOC、EC、ORP、DO、油分等)

②、⑨、⑩について、10mメッシュの小区画毎に、観測孔を設置し、地下水の水質調査結果については表2のとおりである。別添1と比べやや小さい値の結果であった。

表2 区画②、⑨及び⑩における地下水調査結果

	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	②-6	②-7	②-8	②-9	地下水 環境基準	排水基準	検出下限
検体採取日	H31.1.18	H31.1.18	H31.1.18	H31.1.18	H31.1.16	H31.1.18	H31.1.18	H31.1.18	H31.1.18			
ベンゼン	0.004	0.009	0.006	0.14	0.003	0.008	0.006	0.057	0.76	0.01	0.1	0.001
1,4-ジオキサン	0.024	0.013	0.018	0.21	0.026	0.076	0.045	0.061	0.24	0.05	0.5	0.005
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.055	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.01	0.1	0.001
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	0.25	<0.004	<0.004	<0.004	0.012	0.079	0.04	0.4	0.004
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.25	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.028	0.002	(0.02)	0.0002
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—	7.4	—	—	—	—	—	5.0~9.0	—
全有機炭素(TOC)	—	—	—	—	30	—	—	—	—	—	—	1
塩化物イオン	—	—	—	—	160	—	—	—	—	—	—	1
電気伝導率(EC)	186	141	161	436	191	366	193	305	800	—	—	0.1
酸化還元電位(ORP)	-6	-7	104	-62	105	9	46	-71	20	—	—	1
溶存酸素量(DO)	1.9	2.3	2.0	1.5	2.7	1.9	1.7	0.8	3.0	—	—	0.1
油分	—	—	—	—	3.3	—	—	—	—	—	—	0.5

	⑨-1	⑨-2	⑨-3	⑨-4	⑨-5	⑨-6	⑨-7	⑨-8	⑨-9	⑩-6	地下水 環境基準	排水基準	検出下限
検体採取日	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11	H31.1.11			
ベンゼン	3.0	0.054	0.030	0.31	6.8	0.087	0.012	0.37	0.13	0.16	0.01	0.1	0.001
1,4-ジオキサン	1.8	1.1	1.5	1.6	1.6	0.26	0.006	0.44	0.074	0.55	0.05	0.5	0.005
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	0.010	<0.001	0.01	0.1	0.001
1,2-ジクロロエチレン	0.016	0.005	<0.004	<0.004	0.042	0.007	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04	0.4	0.004
クロロエチレン	0.0088	0.0038	0.0018	<0.0002	0.084	0.0072	<0.0002	0.0035	<0.0002	<0.0002	0.002	(0.02)	0.0002
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	6.9	6.5	—	—	—	—	—	—	5.0~9.0	—
全有機炭素(TOC)	—	—	—	250	430	—	—	—	—	—	—	—	1
塩化物イオン	—	—	—	830	1800	—	—	—	—	—	—	—	1
電気伝導率(EC)	528	457	722	496	693	271	131	450	238	367	—	—	0.1
酸化還元電位(ORP)	22	1	13	32	9	-6	-6	19	13	-9	—	—	1
溶存酸素量(DO)	3.2	2.3	2.7	1.4	2.1	4.0	2.1	1.9	1.8	2.4	—	—	0.1
油分	—	—	—	11	46	—	—	—	—	—	—	—	0.5

	⑩-1	⑩-2	⑩-3	⑩-4	⑩-5	⑩-6	⑩-7	⑩-8	⑩-9	地下水 環境基準	排水基準	検出下限
検体採取日	H31.1.28	H31.1.28	H31.1.28	H31.1.28	H31.1.16	H31.1.28	H31.1.28	H31.1.28	H31.1.28			
ベンゼン	0.004	0.024	0.013	0.003	0.002	0.017	<0.001	0.002	0.002	0.01	0.1	0.001
1,4-ジオキサン	0.72	5.2	1.4	0.12	0.16	1.1	<0.005	0.19	0.10	0.05	0.5	0.005
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	0.1	0.001
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04	0.4	0.004
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	(0.02)	0.0002
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—	7.1	—	—	—	—	—	5.0~9.0	—
全有機炭素(TOC)	—	—	—	—	43	—	—	—	—	—	—	1
塩化物イオン	—	—	—	—	120	—	—	—	—	—	—	1
電気伝導率(EC)	172	488	258	68	129	216	96	72	141	—	—	0.1
酸化還元電位(ORP)	-38	-2.3	-35	-40	53	-51	-65	-90	-97	—	—	1
溶存酸素量(DO)	0.6	0.5	0.4	0.9	2.0	0.7	1.0	0.7	0.7	—	—	0.1
油分	—	—	—	—	6.1	—	—	—	—	—	—	0.5

(注1)黄色は環境基準超過、橙色は排水基準超過である。

(注2)単位は電気伝導率(EC)はmS/m、酸化還元電位(ORP)はmV、その他はmg/Lである。

(注3)クロロエチレンは排水基準が定められていないが、暫定的に環境基準値の10倍の値を排水基準値として評価した。

(2) 土壌調査

○相対的に地下水濃度が高い小区画（②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）における0.5m深度毎の土壌溶出量試験結果

相対的に地下水濃度が高い小区画（②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）については、土壌溶出量を詳細に確認するため、0.5m深度毎に採取した。また、0.5m深度毎以外でも明確に土質が変化していると確認できた深度においては、追加で採取し、備考欄に「土質の境界」と表記した。

土壌溶出量試験結果は表3～6のとおりであり、有機塩素系化合物はいずれの小区画においても検出されなかった。ベンゼンについては、⑨-5のTP -4.0mにおいて、土壌の完了判定基準を超過していた。1,4-ジオキサンについては、土壌の完了判定基準及び土壌汚染対策法における土壌溶出量基準は定められていないが、暫定的に土壌環境基準の10倍の値（0.5 mg/L）を完了判定基準として評価すると、⑨-4のTP -0.5m、-1.0m、-1.5mにおいて、暫定的な完了判定基準を超過していた。

表3 小区画（②-5）における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-5	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	0.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.014	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.014	
	-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.013	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.013	
	-2.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.010	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-5.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-5.8	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表4 小区画(⑨-4)における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-4	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.018	
	+1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.034	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.098	
	0.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.39	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.54	
	-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.54	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.56	
	-2.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.30	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.075	強風化花崗岩
	-3.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.011	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.005	強風化花崗岩
	-4.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.015	強風化花崗岩
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.009	強風化花崗岩
	-5.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.011	強風化花崗岩
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.004	強風化花崗岩
	-6.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.007	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
-8.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表5 小区画(⑨-5)における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-5	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	0.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.018	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.032	
	-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.046	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.013	0.15	
	-1.7	<0.001	<0.004	<0.0002	0.014	0.10	土質の境界
	-2.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.008	0.15	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.17	
	-3.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.088	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.086	
	-4.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.16	0.091	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.003	0.018	強風化花崗岩
	-5.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.012	0.007	強風化花崗岩
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	強風化花崗岩
	-6.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	強風化花崗岩	
-8.0	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表6 小区画(㊸-5)における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
㊸-5	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	0.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.032	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.048	
	-3.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.098	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.14	
	-4.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.20	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.18	
	-5.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.034	強風化花崗岩
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.023	強風化花崗岩
	-6.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.011	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-8.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
-8.4	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

○区画（②、⑨及び⑩）のうち、相対的に濃度の高い小区画（②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）を除く小区画及び小区画（⑨-4）に隣接する小区画（⑭-6）における、1 m深度毎の土壌溶出量試験結果（中間報告）

相対的に濃度の高い小区画（②-5、⑨-4、⑨-5 及び⑩-5）を除く小区画等については、1 m深度毎に土壌溶出量試験を実施し、同様に明確に土質が変化していると確認できた深度においては、追加で採取し、備考欄に「土質の境界」と表記した。

結果を表7～30に示す。土壌の完了判定基準を超過するような汚染は確認されなかった。

表7 小区画（②-1）における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-1	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	
	-0.8~-0.9	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	土質の境界
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-4.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表8 小区画（②-2）における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-2	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.3	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表9 小区画(②-3)における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-3	+1.3~-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	土質の境界
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.1	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表10 小区画(②-4)における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-4	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.008	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.006	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.004	0.009	
	-2.5	<0.001	0.004	0.0040	0.004	0.007	
	-3.5	<0.001	0.004	0.0080	0.006	0.007	
	-4.5	<0.001	<0.004	0.0020	0.001	0.006	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.006	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.8	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 11 小区画 (②-6) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-6	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-6.8	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 12 小区画 (②-7) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-7	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-9.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-10.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-11.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-12.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-12.9	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 13 小区画 (②-8) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-8	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.004	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.006	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	<0.005	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-9.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 14 小区画 (②-9) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
②-9	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	0.034	<0.0002	0.004	<0.005	
	-1.5	<0.001	0.060	<0.0002	0.013	<0.005	
	-2.5	<0.001	0.007	<0.0002	0.015	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.006	<0.005	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.007	<0.005	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 15 小区画 (⑨-1) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-1	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	0.38	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.002	0.16	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.030	0.067	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.031	0.037	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.032	0.040	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.027	0.034	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.034	強風化花崗岩
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.009	0.011	強風化花崗岩
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.010	強風化花崗岩
-9.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 16 小区画 (⑨-2) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-2	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.058	
	-0.9~-1.1	<0.001	<0.004	<0.0002	0.012	0.19	土質の境界
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.018	0.14	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.031	
	-2.8	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.024	土質の境界
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.026	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.036	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.004	0.062	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.040	強風化花崗岩
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-9.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-9.7	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 17 小区画 (⑨-3) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-3	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.1~-0.1	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.020	土質の境界
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.011	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.019	
	-2.9	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.021	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 18 小区画 (⑨-6) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-6	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.1~-0.4	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	土質の境界
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.005	0.016	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.041	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 19 小区画 (⑨-7) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-7	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.8	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 20 小区画 (⑨-8) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-8	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.035	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.044	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.034	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.013	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.9	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 21 小区画 (⑨-9) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
⑨-9	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.006	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.4	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 22 小区画 (14-6) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
14-6	+3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+2.1~+1.7	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.025	土質の境界
	+1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.012	
	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.037	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.043	強風化花崗岩
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.031	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.3	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 23 小区画 (30-1) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-1	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.3~-0.3	<0.001	<0.004	<0.0002	0.001	0.005	土質の境界
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.008	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.030	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.051	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.018	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.013	強風化花崗岩
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-8.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 24 小区画 (30-2) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-2	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.2~-0.4	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	土質の境界
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.025	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.053	
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.052	強風化花崗岩
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.12	強風化花崗岩
	-9.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.056	強風化花崗岩
-9.6	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.007	強風化花崗岩	
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 25 小区画 (30-3) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-3	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.015	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.057	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.054	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.032	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.041	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.051	
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.071	
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.070	
	-9.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.075	
	-10.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.085	
	-11.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-12.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
-12.9	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 26 小区画 (30-4) における土壤溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-4	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.038	強風化花崗岩
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壤の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壤溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壤溶出量基準値超過、橙色は土壤の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壤の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壤溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壤の土壤溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壤環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 27 小区画 (30-6) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-6	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	+0.4~+0.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.005	土質の境界
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.6~-1.0	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	土質の境界
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.014	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.11	
	-4.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.21	
	-5.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.12	
	-6.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.25	
	-7.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	0.007	強風化花崗岩
	-8.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-8.6	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 28 小区画 (30-7) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-7	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
-3.7	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩	
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 29 小区画 (30-8) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-8	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

表 30 小区画 (30-9) における土壌溶出量試験結果

地点	TP(m)	トリクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	クロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	備考
30-9	+0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-0.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-1.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-2.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-3.5	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	
	-4.2	<0.001	<0.004	<0.0002	<0.001	<0.005	強風化花崗岩
(参考1)土壌の完了判定基準(※1)		0.3	0.4	- (※2)	0.1	- (※3)	
(参考2)土壌溶出量基準		0.03	0.04	0.002	0.01	- (※3)	

※ TP以外の単位はmg/L、また、黄色は土壌溶出量基準値超過、橙色は土壌の完了判定基準値超過である。

※1 廃棄物等の掘削完了判定マニュアルにおける土壌の完了判定基準

※2 クロロエチレンについては、完了判定基準に定められていないため、暫定的に土壌溶出量基準の10倍の値(0.02mg/L)で評価した。

※3 1,4-ジオキサンについては、土壌の土壌溶出量基準及び完了判定基準が定められていないため、暫定的に土壌環境基準値(0.05mg/L)及びその10倍の値(0.5mg/L)により評価した。

○小区画 (2-5、9-5 及び30-5) における土質試験結果 (透水係数、N値、有機物量等)

区画 (2、9及び30) の代表として、中心にある小区画 (2-5、9-5 及び30-5) において土質試験 (透水係数、N値、有機物量等) を実施し、透水係数、N値の詳細については別紙のボーリング柱状図にまとめ、また、その他の小区画においても透水係数及びN値以外については、参考に添付している。

透水係数については、一部の地点・深度においては、 $1 \times 10^{-4} \text{ cm/s}$ のオーダーであったが、ほとんどの地点・深度においては、 $1 \times 10^{-5} \sim 10^{-6} \text{ cm/s}$ であり、透水性が低かった。N値については、強風化花崗岩層に到達後は急上昇し、50以上の値となった。

有機物量については、「高濃度汚染地点の土壌及び地下水を対象にした適用可能性試験結果」に表記した。

ボーリング柱状図

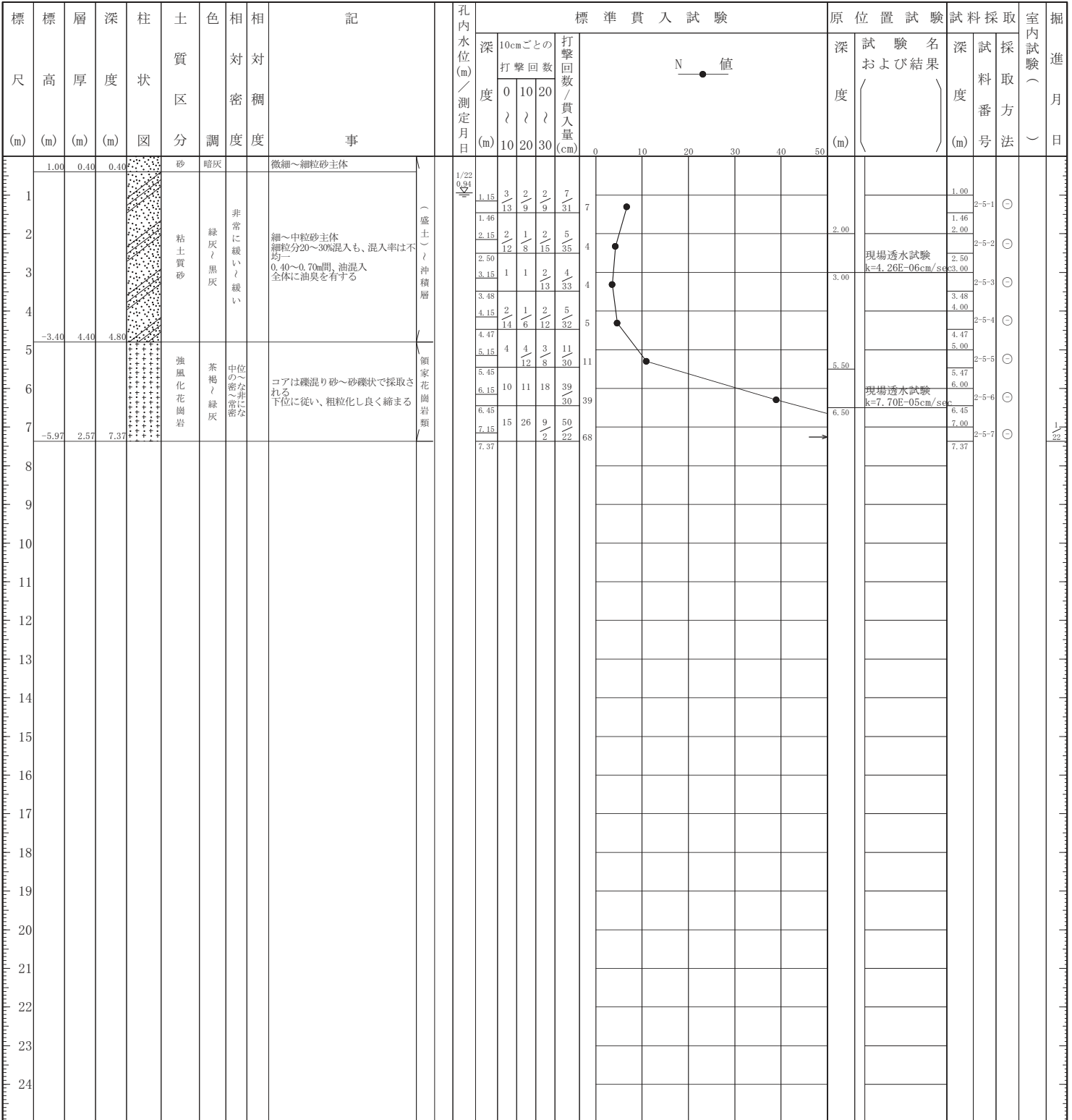
調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2-5 (詳細調査)		調査位置	小豆郡土庄町豊島				北緯			
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成31年1月22日～31年1月22日		東経				
調査業者名	青葉工業株式会社 電話(087-802-9501)	管技術者	香川年市	現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	谷本雅春		
孔口標高	TP=+1.4m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	東邦式D-1B58型	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	7.37m	度		向		エンジン	ヤンマー製NFD10型	ポンプ	東邦式BG-3B型		



ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-5 (詳細調査)		調査位置	小豆郡土庄町豊島			北緯				
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成31年1月18日～31年1月21日		東経				
調査業者名	青葉工業株式会社 電話(087-802-9501)		管理技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	谷本雅春
孔口標高	TP=+2.4m	角			使用機種	東邦式D-1B58型		ハンマー落下用具	半自動モンケン		
総掘進長	10.40m	度			エンジン	ヤンマー製 NFD10型		ポンプ	東邦式BG-3B型		

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験				原位置試験	試験採取番号	室内試験(月日)	掘進月日					
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	値									
1	1.00	1.40	1.40	粘土質砂	暗褐色	非常に緩い					1/18 1/17	1.15	1	2	2	5	32	0.40	現場透水試験 k=8.75E-06cm/sec	1.00	9-5-1	○	
2	0.20	0.80	2.20	シルト混り砂	暗灰色	緩い					1/21	1.47	3	2	3	8	32	1.50	現場透水試験 k=5.16E-05cm/sec	1.47	9-5-2	○	
	-0.20	0.40	2.60	砂混り粘土	茶褐色	中位の						2.15	3	2	3	8	33	2.00		2.48	9-5-3	○	
3	-1.30	1.10	3.70	粘土質砂	暗灰色	緩い						2.48	2	2	2	6	35	2.80	現場透水試験 k=5.54E-06cm/sec	3.00	9-5-4	○	
	-1.60	0.30	4.00	粘土混り砂	暗緑灰色	中位の						3.15	2	2	2	6	35	3.50		4.00	9-5-5	○	
	-1.90	0.30	4.30	粘土質砂	暗灰色	緩い						4.15	6	7	8	21	30	4.40	現場透水試験 k=9.27E-06cm/sec	4.40	9-5-6	○	
4	-2.70	0.80	5.10	粘土混り砂	暗褐色	中位の						4.45	5	6	6	17	30	5.00	現場透水試験 k=2.29E-04cm/sec	4.45	9-5-7	○	
	-3.70	1.00	6.10	砂混り粘土	茶褐色	中位の						5.15	5	6	6	17	30	5.30	現場透水試験 k=1.31E-05cm/sec	5.45	9-5-8	○	
	-4.20	0.50	6.60	礫混り砂	茶褐色	中位の						5.45	30	11	9	50	30	6.00	現場透水試験 k=1.76E-04cm/sec	6.00	9-5-9	○	
5	-4.20	0.50	6.60	強風化花崗岩	茶褐色	固結した						6.15	30	11	9	50	30	6.45		6.45	9-5-10	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						6.45	50			50	4	6.60		7.00	9-5-11	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						7.15	4			50	4	7.15		7.15	9-5-12	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						7.19	50			50	4	7.19		7.19	9-5-13	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						8.15	4			50	4	8.15		8.00	9-5-14	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						8.19	50			50	4	8.19	現場透水試験 k=1.76E-04cm/sec	8.19	9-5-15	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						9.15	50			50	10	9.15		9.25	9-5-16	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						9.25	50			50	10	9.25		9.25	9-5-17	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						10.05	50			50	10	10.05		10.00	9-5-18	○	
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						10.15	50			50	10	10.15		10.15	9-5-19	○	

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2-3 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島						北緯		
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成 30年 12月 28日 ~ 30年 12月 28日			東経				
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一	
孔口標高	TP=+4.3m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機	EP26		
総掘進長	7.38m	度		向				エンジン	3TNU88-SHB		ハンマー落下用具	ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験						原位置試験		試料採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日				
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値				深 (m)					試験名および結果			
1				粘土質砂	黒灰 ~ 茶褐			細~中粒砂主体 粘性は中程度 汚染色を呈する	12/28 3.56 ▽															
2				砂質粘土	茶褐					粘性は中程度														
3	0.70	3.60				3.60																3.00	2-3-1	○
4	0.20	0.50		4.10															3.60	2-3-2	○			
5				強風化花崗岩	茶褐 ~ 緑灰			コアは礫混り砂状で採取される 下位に従い粗粒化する	12/28 3.56 ▽															
6																				4.60	2-3-3	○		
7																				4.80				
8																				5.60	2-3-4	○		
9																				5.80				
10																				6.60	2-3-5	○		
11	-3.08	3.28	7.38													6.80	2-3-6	○						
12																7.18								
13																7.38								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
23																								
24																								

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2-5 (詳細調査)		調査位置	小豆郡土庄町豊島				北緯			
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成 31年 1月 22日 ~ 31年 1月 22日		東経				
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)	管理技術者	香川年市	現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	谷本雅春		
孔口標高	TP=+1.4m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 東邦式 D-1B58型 エンジン ヤンマー製 NFD10型	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	7.37m	度	0°	向				ポンプ	東邦式 BG-3B型		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N 値	位置試験	試験名および結果	採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
									深 度 (m)	10cm 打撃回数	20cm 打撃回数	30cm 打撃回数								
1.00	0.40	0.40		砂	暗灰			微細~細粒砂主体	1/22	1.15	3	2	7							
1.46				粘土質砂	緑灰	非常に緩い		細~中粒砂主体 細粒分20~30%混入も、混入率は不均一 0.40~0.70間、油混入 全体に油臭を有する	0.94	1.46	2	1	5							
2.15				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				2.15	2	1	5							
2.50				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				2.50	1	1	4		現場透水試験 k=4.26E-06cm/sec					
3.15				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				3.15	1	1	4							
3.48				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				3.48	2	1	5							
4.15				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				4.15	2	1	5							
4.47				粘土質砂	黒灰	非常に緩い				4.47	2	1	5							
5.15				強風化花崗岩	茶褐	中位~密		コアは礫混り砂~砂礫状で採取される 下位に従い、粗粒化し良く締まる		5.15	4	4	11							
5.45				強風化花崗岩	茶褐	中位~密				5.45	10	11	39		現場透水試験 k=7.70E-05cm/sec					
6.15				強風化花崗岩	茶褐	中位~密				6.15	10	11	39							
6.45				強風化花崗岩	茶褐	中位~密				6.45	15	26	50							
7.15				強風化花崗岩	茶褐	中位~密				7.15	15	26	50							
7.37				強風化花崗岩	茶褐	中位~密				7.37	15	26	50							

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壤採取等調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2-8 (土壤採取)	調査位置	小豆郡土庄町豊島					北緯						
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課				調査期間	平成 31年 1月 10日 ~ 31年 1月 10日			東経					
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)	管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一				
孔口標高	TP= +1.2m	角			地盤勾配	鉛直 水平0°		使用機種	試錐機	EP26		ハンマー落下用具		
総掘進長	10.19m	度			エンジン	3TNU88-SHB		ポンプ						

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠密度	相對稠密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験 ()	掘進月日						
									深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	採取番号			採取方法					
1	0.30	0.90	シルト混り砂	茶褐			細~中粒砂主体	1/10 0.58	10	20	30	40	50	0.50	2-8-1	○								
	-0.20	0.50	砂	暗灰			細~中粒砂主体		10	20	30	40	50	0.70	2-8-2	○								
2			粘土質砂	黒灰~暗灰~茶褐			細~粗粒砂に亘る粘性は中程度上位、汚染色を呈する	(盛土) / 沖積層							1.50	2-8-3	○							
																				1.70	2-8-4	○		
																				2.50	2-8-5	○		
																				2.70	2-8-6	○		
																				3.50	2-8-7	○		
																				3.70	2-8-8	○		
																				4.50	2-8-9	○		
																				4.70	2-8-10	○		
																				5.50	2-8-11	○		
																				5.70	2-8-12	○		
9	-8.10	7.90	強化花崗岩	茶褐			コアは礫混り砂状で採取される							6.50	2-8-13	○								
	-8.99	0.89												6.70	2-8-14	○								
														7.50	2-8-15	○								
														7.70	2-8-16	○								
														8.50	2-8-17	○								
														8.70	2-8-18	○								
														9.50	2-8-19	○								
														9.70	2-8-20	○								
														9.99	2-8-21	○								
														10.19	2-8-22	○								

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-2 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島						北緯	
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課				調査期間	平成 30年 12月 7日 ~ 30年 12月 7日			東経		
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	南友章
孔口標高	TP=+2.5m	角			地盤勾配	水平0°		使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.20m	度	0°		向	0°		エンジン	EP26		ポンプ
									3TNU88-SHB		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	位置試験	試験採取番号	室内試験 (月日)	掘進月日	
														深 (m)
1				粘土質砂	暗灰			細~粗粒砂に亘る粘性は中程度細砂少量混入 2.50~2.70mm間、砂状			0.80	9-2-1	○	
2				粘土質砂	暗灰			全体に有機色を呈する細~粗粒砂に亘る			1.00	9-2-2	○	
3				粘土質砂	暗灰			全体に有機色を呈する細~粗粒砂に亘る			1.80	9-2-3	○	
4				粘土質砂	暗灰			全体に有機色を呈する細~粗粒砂に亘る			2.00	9-2-4	○	
5				粘土質砂	暗灰			細~中粒砂主体粘性は小程度			2.80	9-2-5	○	
6				砂質粘土	暗灰			粘性は中程度			3.00	9-2-6	○	
7				粘土質砂	暗灰			細~中粒砂主体粘性は小~中程度			3.40	9-2-7	○	
8				粘土質砂	暗灰			細~中粒砂主体粘性は小~中程度			3.80	9-2-8	○	
9				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			4.00	9-2-9	○	
10				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			4.80	9-2-10	○	
11				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			5.10	9-2-11	○	
12				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			5.30	9-2-12	○	
13				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			5.80	9-2-13	○	
14				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			6.00	9-2-14	○	
15				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			6.80	9-2-15	○	
16				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			7.00	9-2-16	○	
17				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			7.80	9-2-17	○	
18				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			8.00	9-2-18	○	
19				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			8.80	9-2-19	○	
20				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			9.00	9-2-20	○	
21				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			9.80	9-2-21	○	
22				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			10.00	9-2-22	○	
23				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			10.80	9-2-23	○	
24				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			11.80	9-2-24	○	
				強風化花崗岩	茶褐			コアは砂質シルト~礫混り砂~砂礫状で採取される			12.00	9-2-25	○	

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-3 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島				北緯				
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課				調査期間	平成 30年 12月 11日 ~ 30年 12月 11日		東経				
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)	管技術者	香川年市	現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一			
孔口標高	TP=+2.6m	角		方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機	EP26	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.50m	度		度		エンジン		3TNU88-SHB		ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対稠密度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試験採取番号	室内試験方法	掘進月日
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			N 値						
											0	10	20							
1.00				粘土混り砂	黒灰? 暗灰? 暗褐色			細~粗粒砂に巨る粘性は小程度一部、細礫混入し、礫混り粘土質砂状	12/11								-0.90	9-3-1	◎	
				シルト 黒灰				全体に有機色を呈する									1.10			
																	1.90	9-3-2	◎	
																	2.10			
																	2.50	9-3-3	◎	
																	2.70			
																	2.90	9-3-4	◎	
																	3.10			
				粘土質砂	暗灰? 暗褐色			細~粗粒砂主体粘性は中程度本層(5.50m)以深、強風化花崗岩									3.90	9-3-5	◎	
																	4.10			
																	4.90	9-3-6	◎	
																	5.10			
																	5.30	9-3-7	◎	
																	5.50			

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-4 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島					北緯							
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課				調査期間	平成 30年 12月 4日 ~ 30年 12月 4日		東経								
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	南友章					
孔口標高	TP=+2.4m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	EP26		ハンマー	落下用具	
総掘進長	10.40m	度			向			エンジン	3TNU88-SHB		ポンプ					

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験深度 (m)	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 (月日)	掘進月日
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1	1.00	1.00		礫混り粘土質砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 粘性は中程度 細~中礫混入	12/4 1.46	0	10	20	30	40	50	0.70	9-4-1	○	
2	1.80	2.80		粘土質砂	暗灰~暗褐			細~中粒砂主体 粘性は小~中程度		1.50	1.70	1.90	2.10	2.30	2.50	1.40	9-4-2	○	
3	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	2.90	9-4-3	○	
4	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		3.40	3.60	3.80	4.00	4.20	4.40	3.70	9-4-4	○	
5	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		4.20	4.40	4.60	4.80	5.00	5.20	4.50	9-4-5	○	
6	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		4.90	5.10	5.30	5.50	5.70	5.90	4.90	9-4-6	○	
7	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		5.30	5.50	5.70	5.90	6.10	6.30	5.40	9-4-7	○	
8	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		5.70	5.90	6.10	6.30	6.50	6.70	5.70	9-4-8	○	
9	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		6.10	6.30	6.50	6.70	6.90	7.10	6.20	9-4-9	○	
10	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		6.50	6.70	6.90	7.10	7.30	7.50	6.40	9-4-10	○	
11	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		6.90	7.10	7.30	7.50	7.70	7.90	6.60	9-4-11	○	
12	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		7.30	7.50	7.70	7.90	8.10	8.30	6.70	9-4-12	○	
13	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		7.70	7.90	8.10	8.30	8.50	8.70	6.80	9-4-13	○	
14	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		8.10	8.30	8.50	8.70	8.90	9.10	7.00	9-4-14	○	
15	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		8.50	8.70	8.90	9.10	9.30	9.50	7.10	9-4-15	○	
16	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		8.90	9.10	9.30	9.50	9.70	9.90	7.20	9-4-16	○	
17	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		9.30	9.50	9.70	9.90	10.10	10.30	7.30	9-4-17	○	
18	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		9.70	9.90	10.10	10.30	10.50	10.70	7.40	9-4-18	○	
19	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		10.10	10.30	10.50	10.70	10.90	11.10	7.50	9-4-19	○	
20	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		10.50	10.70	10.90	11.10	11.30	11.50	7.60	9-4-20	○	
21	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		10.90	11.10	11.30	11.50	11.70	11.90	7.70	9-4-21	○	
22	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		11.30	11.50	11.70	11.90	12.10	12.30	7.80	9-4-22	○	
23	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		11.70	11.90	12.10	12.30	12.50	12.70	7.90	9-4-23	○	
24	1.70	4.50		礫混り砂	暗茶			細~粗粒砂に亘る 細~中礫混入 一部粘土分含む		12.10	12.30	12.50	12.70	12.90	13.10	8.00	9-4-24	○	

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-5 (詳細調査)		調査位置	小豆郡土庄町豊島				北緯						
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課				調査期間	平成31年1月18日～31年1月21日		東経						
調査業者名	青葉工業株式会社 電話(087-802-9501)		管理技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	谷本雅春			
孔口標高	TP=+2.4m	角	180°上 90° 0°下 0°		方	北 0° 270°西 180°南 90°東		地盤勾配	鉛直 水平0°	使用機種	東邦式D-1B58型	ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	10.40m	度			向			エンジン	ヤンマー製 NFD10型	ポンプ	東邦式BG-3B型			

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験					原位置試験	試験採取番号	室内試験(月日)	掘進月日			
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	20	30	貫入量 (cm)					深 (m)	試験名および結果	深 (m)
1.00	1.40	1.40		粘土質砂	暗褐色	非常に緩い						1.15	1	2	2	5	0.40	現場透水試験 k=8.75E-06cm/sec	1.00	9-5-1	○		
2.00	0.80	2.20		シルト混り砂	暗褐色	緩い						1.47					1.50	現場透水試験 k=5.16E-05cm/sec	1.47	9-5-2	○		
-0.20	0.40	2.60		砂混り粘土	茶褐色	中位の						2.15	3	2	3	8	2.00		2.00	9-5-3	○		
-1.30	1.10	3.70		粘土質砂	暗褐色	緩い						2.48					2.80	現場透水試験 k=5.54E-06cm/sec	2.48	9-5-4	○		
-1.60	0.30	4.00		粘土混り砂	暗褐色	中位の						3.15	2	2	2	6	3.50		3.00	9-5-5	○		
-1.90	0.30	4.30		粘土質砂	暗褐色	中位の						3.50	6	7	8	21	4.40	現場透水試験 k=9.27E-06cm/sec	4.00	9-5-6	○		
-2.70	0.80	5.10		粘土混り砂	暗褐色	中位の						4.15					5.00	現場透水試験 k=2.29E-04cm/sec	4.45	9-5-7	○		
-3.70	1.00	6.10		礫混り砂	茶褐色	中位の						4.45	5	6	6	17	5.45	現場透水試験 k=1.31E-05cm/sec	5.45	9-5-8	○		
-4.20	0.50	6.60		強風化花崗岩	茶褐色	固結した						5.15	11	9	50	30	6.00	現場透水試験 k=1.76E-04cm/sec	6.00	9-5-9	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						6.15	30	11	9	50	6.45		6.45	9-5-10	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						7.15	4		50	4	7.00		7.00	9-5-11	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						7.19			50	4	7.19		7.19	9-5-12	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						8.15	4		50	4	8.00		8.00	9-5-13	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						8.19			50	4	8.19	現場透水試験 k=1.76E-04cm/sec	8.19	9-5-14	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						9.15			50	10	9.25		9.25	9-5-15	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						9.25			50	10	10.00		10.00	9-5-16	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						10.05			50	10	10.15		10.15	9-5-17	○		
				強風化花崗岩	茶褐色	非常に密な						10.15			50	10					9-5-18	○	

ボーリング柱状図

調 査 名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9-6 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島			北緯						
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成 30年 12月 11日 ~ 30年 12月 11日		東経						
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管 理 者 技 術 者	香川年市		現 場 責 任 者	近石 憲夫	コ 鑑 定 者	山地 博章	ボーリング責任者	佐藤 啓一		
孔口標高	TP= +2.4m	角	180° 上	90°	方	北 0° 西 270°	東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平0°	使用機種	試錐機 EP26	ハンマー 落下用具	
総掘進長	6.60m		度	下 0°						エンジン	3TNU88-SHB		ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対稠密度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日					
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							深 度 (m)				
											0	10										20	0	10	20
1			礫混り砂	黄褐色	暗茶			細~粗粒砂に巨る 細~中礫混入	12/11 1.21							0.70	9-6-1	○							
2	0.40	2.00			粘土質砂	暗褐色			細~中粒砂主体 粘性は中程度								0.90	9-6-2	○						
3	-0.10 -0.40	0.50 0.30	2.50 2.80	砂質粘土	暗灰			粘性は中程度								1.70	9-6-3	○							
																			1.90	9-6-4	○				
4			粘土質砂	暗褐色 暗灰				細~粗粒砂に巨る 粘性は小程度 下位に従い細礫の混入率増加	(盛土) / 沖積層							2.50	9-6-5	○							
5																						2.80	9-6-6	○	
6																						3.70	9-6-7	○	
7	-4.20	3.80								6.60												3.90	9-6-8	○	
8																						4.70			
9																						4.90			
10																						5.70			
11																						5.90			
12															6.40										
13															6.60										

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 14-6 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島					北緯								
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成 30年 12月 26日 ~ 30年 12月 26日		東経										
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一						
孔口標高	TP=+4.1m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°		使用機種	試錐機	EP26		ハンマー		
総掘進長	8.44m		度			向			鉛直			エンジン	3TNU88-SHB		ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対稠密度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日				
										深	10cmごとの打撃回数			N 値							深	度	度	度
											0	10	20											
1	3.00	1.10	1.10	礫混り砂	黄褐色			細~粗粒砂に亘る細礫混入	12/26 3.08						0.40	4-6-1	○							
2	1.40	1.60	2.70	砂質シルト	黒灰~暗灰			微細~細粒砂混入汚染色を呈する							1.40	4-6-2	○							
3	0.00	1.40	4.10	礫混り粘土質砂	茶褐色			細~粗粒砂に亘る細礫少量混入粘性は小程度							1.60	4-6-3	○							
4															2.20	4-6-4	○							
5															2.40	4-6-5	○							
6															2.60	4-6-6	○							
7															3.40	4-6-7	○							
8															3.60	4-6-8	○							
9															4.40	4-6-9	○							
10															4.60	4-6-10	○							
11															5.40	4-6-11	○							
12															5.60	4-6-12	○							
13															6.40	4-6-13	○							
14															6.60	4-6-14	○							
15															7.40	4-6-15	○							
16															7.60	4-6-16	○							
17															8.24	4-6-17	○							
18															8.44	4-6-18	○							

ボーリング柱状図

調 査 名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.	
----------	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 30-1 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島			北 緯					
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課			調査期間	平成 31年 1月 15日 ~ 31年 1月 15日		東 経					
調査業者名	青葉工業株式会社 電話 (087-802-9501)		管 理 者 技 術 者	香川年市		現 場 責 任 者	近石憲夫	コ 鑑 定 者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一	
	孔口標高	TP=+2.3m		角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試験錐機	EP26
総掘進長	10.50m					エンジン	3TNU88-SHB			ポンプ		

標 尺 (m)	層 高 (m)	厚 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室内試験 ()	掘 進 月 日			
											10cmごとの打撃回数		N 値	0	10	20							30	40	50
											0	10													
1					シルト混り砂	茶褐			細～中粒砂主体 細礫混入	1/15 2.61															
2	0.30	2.00	2.00		粘土	黒灰			粘性は小程度 汚染色を呈する								1.60	30-1-1	○						
	-0.30	0.60	2.60		粘土	暗灰			粘性は小程度 汚染色を呈する								2.00	30-1-2	○						
					粘土	暗灰			粘性は小程度 汚染色を呈する								2.60	30-1-3	○						
3					シルト混り砂	暗褐			細～中粒砂主体 粘性は小程度 細粒分不均一に混入し、一部砂質粘土状	(盛土) / 沖積層							2.80	30-1-4	○						
	-1.90	1.60	4.20		シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								3.60	30-1-5	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								3.80	30-1-6	○						
4					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								4.60	30-1-7	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								4.80	30-1-8	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								5.60	30-1-9	○						
5					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								5.80	30-1-10	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								6.60	30-1-11	○						
	-5.00	3.10	7.30		シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								6.80	30-1-12	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								7.60	30-1-13	○						
6					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								7.80	30-1-14	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								8.60	30-1-15	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								8.80	30-1-16	○						
7					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								9.60	30-1-17	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								9.80	30-1-18	○						
					シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								10.30	30-1-19	○						
	-8.20	3.20	10.50		シルト混り砂	暗褐			細～粗粒砂に亘る 細粒分不均一に混入								10.50	30-1-20	○						

ボーリング柱状図

調査名 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 土壌採取等調査業務委託

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 30-3 (土壌採取)		調査位置	小豆郡土庄町豊島						北緯		
発注機関	香川県環境森林部廃棄物対策課						調査期間	平成31年1月17日～31年1月17日		東経		
調査業者名	青葉工業株式会社 電話(087-802-9501)		管技術者	香川年市		現場責任者	近石憲夫	コ鑑定者	山地博章	ボーリング責任者	佐藤啓一	
孔口標高	TP=+0.7m	角	180°上 90°下	方	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試錐機	EP26	ハンマー落下用具	
総掘進長	13.59m	度						エンジン		3TNU88-SHB	ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試験名および結果	試験採取番号	室内試験(月)	掘進日
1	0.90	0.90		粘土混り砂	茶褐色			細～粗粒砂に巨る粘性は小程度細礫少量混入				30-3-1	○	
2	1.00	1.90		砂混りシルト	黒灰			微細～細粒砂主体粘性を有する				30-3-2	○	
3												30-3-3	○	
4												30-3-4	○	
5												30-3-5	○	
6												30-3-6	○	
7												30-3-7	○	
8	5.90	7.80										30-3-8	○	
9	0.90	8.70		礫混り砂	暗褐色			細～粗粒砂に巨る細～中礫混入礫の混入率は不均一				30-3-9	○	
10												30-3-10	○	
11												30-3-11	○	
12												30-3-12	○	
13	4.60	13.30		粘土質砂	暗灰～茶褐色			細～粗粒砂に巨る粘性は小～中程度下位に従い、礫の混入率が增加				30-3-13	○	
14	0.29	13.59		強風化花崗岩	暗灰			コアは礫混り砂状で採取される				30-3-14	○	

